

育教の兒幼

號 五 第 號 月 五 卷三十三第



內 校 學 範 師 等 高 子 女 京 東
會 協 園 稚 幼 本 日

東京女子高等師範學校助教授

石田はる先生著

和服裁縫系統的精説

上巻 價二圓五十錢 送二圓十二錢
 下巻 價二圓八十錢 送二圓十二錢
 合輯 價四圓五十錢 送三圓十三錢

和服裁縫を科學的に検討し系統的に組織立てその教授法の原理を精確に把捉せしむ!! 文檢要書

和服裁縫と言へば實際家は單に技術に訴へ又理論家は唯々斷片的の理論に終始する爲眞に兩者の合致を得ず。畢竟之等が現在の小、女學校等の裁縫に教授する爲眞に兩者の合致を得ず。畢竟之等が現在の小、女學校等の裁縫に教育として在職現在十二ヶ年其間和服裁縫の全般的に付て科學的に裁縫的の檢討をして之れを系統的に組織立て其貴き苦心の結晶を始めて何物にも捉はれず凡ゆる流派を超越して其内容として從來の傳習的因襲的の何物にも捉はれず凡ゆる流派を超越して其内容として從來の傳習的因襲的の何物にも捉はれず凡ゆる流派を超越して其内容として從來の傳習的因襲的の何物にも捉はれず

東京女子高等師範學校教授 堀七藏著

研究 自在 家事 實 驗 室

全一冊洋綴 紙數六百四十 價三圓八十錢 送料十八錢

讀むと聴くだけ の弊を脱した家 事實驗研究室

女子教育の必須科目家事科が從來現在其の眞價を是非せらるゝ所以は説く所が理論に傾き易く、斯學本來の目的に背馳するからである。實験科學の權威堀先生は多年教壇の經驗と専攻の三大綱目の下に百數十項を設けて著す隨つて本書の記載は一字一句として活用し得ざるなく、故に本書一冊は優に類書十冊に匹敵すべく而も組織微に入り細に入り互に綜合網羅的のものとなつて確信す。數壇の諸士は勿論斯學研究者及女檢變驗者の必讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區 中 文 館 書 店 振替東京三八二七番 電話牛込三三二番 七番

幼兒教育講演會

一、期 日 來る五月廿七日(土曜日)午後一時半より

一、場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一、講師及び演題

幼兒性行評定尺度に就て 文學博士 淡路圓治郎氏

多數御來會を歡迎致します

五月十五日

日本幼稚園協會

月刊

定価 半年 15部
 前年 12金
 五部 15金
 二錢 15圓
 稅錢 18圓
 錢錢 16圓

五月五日發行 六月號

編輯顧問 東京女高師 幼稚園主事 **倉橋惣三先生**

理想的小子供繪雜誌

◎「ゴドモノテンチ」は幼年教育の本旨に基いて、教訓と藝術と科學との渾一不離を期して編輯した雜誌です。

◎「ゴドモノテンチ」は子供の心になると同時に、作品としての誠實な態度を努力して持して、子供の眞實なものに觸れて行くべく、作り上げた雜誌です。

◎「ゴドモノテンチ」はごの月の雜誌でも一冊一冊に独自の理想を持ち、まごまりのあるやう、研究に研究を重ねて生れ出でた雜誌です。

◎「ゴドモノテンチ」の執筆者は斯界に於ける一流の諸先生であり、製版者、印刷者はそれ／＼有名な權威者です。

◎「ゴドモノテンチ」は明かにして、しかも嚴肅な子ごもの天地を尊重して、子供達の心芽生えを正しく清くあかるく成長させる理想的な繪雜誌です。

編輯顧問 東京女高師 幼稚園主事 **板倉賛治先生**

目録の覚めたるやうな本號の内内容

オフセット色刷の頁

- ▽魚つり(表紙)……………清水良雄先生
 - ▽柳につばめ(テープ)……………板倉賛治先生
 - ▽白ゆりの花(とがら)……………石井柏亭先生
 - ▽軍艦「那智」の勇ましい姿……………清水良雄先生
 - ▽ロビンソン、クルー……………清水良雄先生
 - ▽ソニー(繪物)……………川上四郎先生
 - ▽しゃぼんだま……………初山滋先生
 - ▽ニヤンニヤン猫の……………西條十先生
 - ▽子(童話)……………伊藤肇先生
 - ▽サーカスお馬の行列……………森山肇先生
 - ▽曾我兄弟(歴史物語)……………太田三郎先生
 - ▽かばいらしい「きびたき」……………清水良雄先生
 - ▽ヨロー遊びと自動車……………板倉賛治先生
 - ▽重い鐵砲(童話)……………濱田廣介先生
 - ▽おひげのちいちゃん……………森山肇先生
 - ▽砂あそび……………前川千帆先生
 - ▽森の小鳥(童話)……………武井武雄先生
 - ▽おまごこと……………野口雨情先生
 - ▽かぞへ方とメンタル……………深澤省三先生
 - ▽圖案お人形(裏表紙)……………本田庄太郎先生
 - ▽前島とも先生……………武井武雄先生
- 録附 「切り抜きお細工もの」**
- ▽ニヤンニヤン猫の子……………熊谷奎太郎先生
 - ▽二つのたま……………曲譜中山晋平先生
 - ▽子供のお習字……………振付土川五郎先生
 - ▽石橋博士……………鷹見先生
 - ▽お母様方へ……………板倉先生
 - ▽お母様方へ……………板倉先生
 - ▽お母様方へ……………板倉先生
 - ▽お母様方へ……………板倉先生

東京電話替 本市小東 郷區川石 駒込五〇 曙町三六 町一四

發行所 天地の社

幼兒教育講演會

一、期 日 來る五月廿七日(土曜日)午後一時半より

一、場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一、講師及び演題

幼兒性行評定尺度に就て

文學博士 淡路圓治郎氏

多數御來會を歡迎致します

五月十五日

日本幼稚園協會

月刊 子供天地

五月五日發行 六月號

定價 半年一元
 前年 部金十五錢
 部前 部金十二錢
 二錢 稅金八錢
 錢 錢十六

編輯顧問 東京女高師 幼稚園主事 **倉橋惣三先生**

理想の子供の繪雑誌

◎「ゴドモノテンチ」は幼年教育の本旨に基いて、教訓と藝術と科學との渾一不離を期して編輯した雑誌です。

◎「ゴドモノテンチ」は子供の心になると同時に、作品としての誠實な態度を努力して持して、子供の眞實そのものに觸れて行くべく、作り上げた雑誌です。

◎「ゴドモノテンチ」はごの月の雑誌でも一冊一冊に独自の理想を持ち、まごまりのあるやう、研究に研究を重ねて生れ出でた雑誌です。

◎「ゴドモノテンチ」の執筆者は斯界に於ける一流の諸先生であり、製版者、印刷者はそれ／＼有名な權威者です。

◎「ゴドモノテンチ」は明かにして、しかも嚴肅な子ごもの天地を尊重して、子供心の芽生えを正しく清くあかるく成長させる理想的な繪雑誌です。

編輯顧問 東京高師 圖書科主任 **板倉賛治先生**

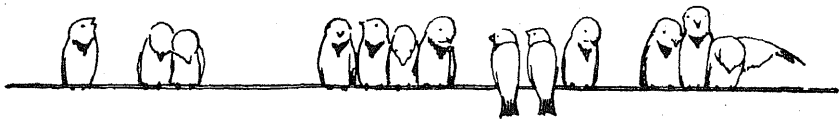
目録の覚めるやうな本號の内容

オフセット色刷の頁

- ▽魚つり(表紙)……………清水良雄先生
- ▽柳につばめ(テープ)……………板倉賛治先生
- ▽白ゆりの花(とがら)……………石井柏亭先生
- ▽軍艦「那智」の勇ましい姿……………清水良雄先生
- ▽ロビンソン、クルー……………川上四郎先生
- ▽ソニー(繪噺)……………初山滋先生
- ▽しゃぼんだま……………西條八十先生
- ▽ニヤンニヤン猫の……………伊藤肇先生
- ▽子(童話)……………森山孝先生
- ▽サーカスお馬の行列……………太田三郎先生
- ▽曾我兄弟(歴史物語)……………太田三郎先生
- ▽かばいらしい「きびたき」……………清水良雄先生
- ▽ヨーヨー遊びと自動車……………板倉賛治先生
- ▽重い鐵砲(童話)……………濱田廣介先生
- ▽おひげのちいちゃん……………森山肇先生
- ▽(漫畫)……………前川千帆先生
- ▽砂あそび……………武井武雄先生
- ▽森の小鳥(童話)……………野口雨情先生
- ▽おまごこと……………深澤省三先生
- ▽かぞへ方とメンタル……………本田庄太郎先生
- ▽圖案お人形(裏表紙)……………前島とも先生
- ▽武井武雄先生……………武井武雄先生
- ▽熊谷李太郎先生……………熊谷李太郎先生
- ▽ニヤンニヤン猫の子……………曲譜中山晋平先生
- ▽二つのたま……………振付土川五郎先生
- ▽童話……………太郎と
- ▽子供の繪の導き方……………板倉先生
- ▽子供のお習字……………鷹見先生
- ▽石橋博士……………石橋博士
- ▽お母様方へ……………お母様方へ
- ▽一週間の言葉と記者の説明……………一週間の言葉と記者の説明

東京電話 一六四
 市東 本小東
 區區 駒川石
 町町 曙五九
 一十町 三〇

發行所 天地の地社



號五第 育教の兒幼 卷三十三第

—(次 目)—

口 繪 園 藝

教育される教育者(巻頭言)

倉橋惣三(一)

幼児性行評定尺度に就て(上)

淡路圓治郎(二)

聞き捨てならぬ父兄の聲

和田 實(二)

ドイツに於ける就學前の教育の發展について

白根孝之譯(二六)

六月の觀察

堀 七 藏(三)

年長組の新保育期に(二)

新庄よしこ(三)

世界人形行脚

高市次郎(四)

保育生活感想——子供と共に生きる——

(五)

新園寄せがき帖(その二)

及川ふみ(五)

小兒腸寄生蟲(蛔蟲と蟯蟲)

廣 瀨 興(五)

遊戯「まりがつかた」

土川五郎(六)

講話「いろ／＼の子ども」4

倉橋惣三(六)

たより……………(七)

新昭和幼年唱歌

第一輯目次

園長先生
人參食べてる
兎さん
猿はひっかく
鸚鵡のお家
蟲がはねた
ペンギン

第二輯目次

驢馬がにける
野原はひろい
ワクボノリ
鏡を著たい
家鴨を數へま
せう
愁がつきたい

昭和幼年唱歌 第三輯

河馬ちゃん
早く繪や字をかきたいな
ミンミン蟬がないてゐる
すべり臺
お芋ころころ
たんほほ坊主

昭和幼年唱歌 第四輯

二羽の雀
大鼓はごんごん
伸びた竹の子
お父様のお父様お母様の
お母様
門番失敬
たんほほさいた

伴奏料 各
附四十二
美十二
本錢

新昭和少年唱歌

第一輯目次

お宮ごお寺
柿の種ミ握り
やねの上の雀
はまべの子
私の箱庭
ラヂオ體操

第二輯目次

お家にあかり
がつきました
ベリカン
ウ立やんで
牛ご馬
めえ親山
羊子供山羊
日暮山霧

昭和少年唱歌 第三輯

地下鐵道
田圃の雨山の雨
アンテナ線がゆれてます
蛙のブル
私のひよこ
ほっくり浮いたまくわ瓜

昭和少年唱歌 第四輯

朝日がでてる
二列三列桐並木
煙の環
早起き
五月の節句
子兎蹄

伴奏料 各
附四十二
美十二
本錢

廣島高師教諭 山本壽先生著
音樂教育の三大方面
菊判美裝函入
定價 四・五〇

小松、梁田、萬原先生著
文部省
認定小學歌曲選集
四六倍判美裝
定價 一・二〇

小松耕輔先生著自第一集至第三集
小松耕輔歌曲集
四六倍判美裝
定價 各五十錢

梁田貞先生著 自第一集至第五集
梁田貞歌曲
四六倍判美裝
定價 各五十錢

小松、萬原、梁田先生著
大正少年唱歌合本
菊判クローズ製
定價 二圓五十錢

小松、萬原、梁田先生著
大正幼年唱歌合本
菊判クローズ製
定價 二圓五十錢

東京市神田區 駿河臺 三丁目 目黒書店發行



種をまいて水をやつたけど札がない。
木の箱のふたでつくりませう。

自分の名をかいて鉢に

立てませう、

筆で書いてね。――

朝顔、朝顔、

どんな色に咲くでせうか。

幼 兒 の 教 育

昭 和 八 年 五 月

教 育 さ れ る 教 育 者

教育はお互である。それも知識を持てるものが、知識を持たぬものへ教へてゆく意味では、或は一方は與へるだけである。しかし、人が人に觸れてゆく意味では、兩方が、與へもし受けもする。

幼稚園では、與へるこゝより觸れあふこゝが多い。しかも、あの純眞善良な幼兒が觸れるのである。受くるこゝが多いといはなければならぬ。

與へる力に於て優れてゐるのみでなく、受くる力に於ても、幼兒よりは教育者の方が優れてゐべき筈である。その點に於て、幼兒が受くるよりも、より多くを受け得る筈でもある。

幼稚園で、より多く教育されるものは、……より多くこゝいはないまでも、幼稚園教育者はたえず幼兒に教育される。

教育はお互である。

幼児性行評定尺度に就て (上)

淡路圓治郎

一、序

教育の第一歩は生徒の状態の認識から始まります。殊に幼稚園の教育では、一層児童の状態を知ることが大切です。児童の状態の中でも、特に各個人の發育狀況を確實に知るこゝが肝要で、この點が曖昧であれば、折角の保育が適切を缺くこゝを免れません。

従來、幼稚園では児童の狀態の調査が一般に忽かな嫌があり、殊に發育狀況の診査は寧ろ投げ遣りにせられてゐる有様です。それでも、身體の發育狀況に關しては、不十分乍らも、近頃では診査を行ふ向がふえました。教育上一倍大切な精神の發育の方面は殆んど閑却せられてゐる云つてもよい程です。

尤も、特殊の児童に知能検査を施したり、また學術的興味から能力を測つたりした場合は無いでもありませんが、一定の教育計畫に基いて眞に保育の役に立つ診査を行つてゐる幼稚園は、残念乍ら、その數に乏しい云はねばなりません。

その證據には、性能診査法があれだけ發達して來たのに拘らず、就學年齢前の児童に適用すべき方法だけが、未だ標準化せられる迄に到つてはるません。即ち滿四五歳以下の児童に用ひられる診査法は十分に信頼に値するものが見當らないといふ始末です。之はその方面からの要求が少い爲に、自然、研究が後廻しにされてゐるからではないかと思はれます。

然し、最近では幼児知能検査の制定に着手する學者も出ましたし、私自身も幼児用精神發達診査検査の標準化に努力を

致してゐますけれども、夫等はすべて能力の發育に關するもので、幼兒の情意活動殊に性行の診査法はまだ工夫さへもせられては居りません。

私の考では、人間の知力は生來の遺傳によつて規定せられる所が多く、此方面での教育は結局各自の生來素質を、天賦の厚薄の儘に、夫々可能の限度に迄展開するこゝが出来るやうに、兒童の内外の事情を適當に配慮し整備するこゝを旨とすべきものであり、この點に於て智育は兒童の生れ付きを引き出すこゝに外ならぬものと信じますが、人間の情意性即ち性行は生來性よりは寧ろ後天的の諸事情によつて強く規定せられ、殊に經歷、境遇等の支配を受ける所が尠くはなく、此方面での教育は一定の理想に近づき得るやうに専ら兒童の性格の鍊磨陶冶に力を注ぐべきであり、従つて德育こそ教育者の努力の一倍效驗を現す方面で、教育の本領はまた實に茲に存すべきものと信じます。

ところが、前述のやうに、兒童の知力の發育に關してこそ、近頃では些か乍らも診査法が工夫せられてゐますものゝ、一層大切な德育の對象たるべき情意の發育に關して、何等計畫的な性行診査の試みさへされてゐないのは、遺憾千萬なこゝであります。

厳密に申せば、情意の活動は知力の活動に比して把へ難い性質がありますから、性行の診査は、能力の診査に較べるこゝ、方法上また實施上、遙に困難であり面倒であるこゝを免れませんので、勢ひ閑却せられ勝ちなのでありませうけれども、工夫によつては左程困難な方法を用ひずとも、また割合に面倒な手数を要しないでも、實施し得られ、しかも教育上には相當に役立ち得る途もあるのですから、改良は漸次加へるこゝとして、差し當りこの種の便法を試みられんことを希望いたします。

一、性行評定尺度の要件

幼稚園で用ひられる性行評定尺度は研究上の目的よりは寧ろ教育上の目的に役立つことの方が肝要ですから、餘り學術的なむづかしいものよりは、平易簡便のものの方が適切であることは申すまでもありません。

私共もこの幼児性行評定尺度の立案に際しましては、特にこの點に十分な注意を拂ひ、次のやうな配慮をいたしました。

(甲)、性行項目の選び方

一、性行評定尺度の項目は、學術上の興味から出發しないで、純教育上の要求から出發して、選定せらるべきこと。従つて所謂個性心理學的調査法なきに捉はれないで、保育の目的に協ふやう實用的見地から取捨せらるべきこと。評定さるべき性行は何處までも、保育上有意義なものを選び、直接陶冶の對象となるか、または陶冶の場合に特に留意すべき肝要なものだけに限ること。即ち、性行診査標は徒らに精密な個性心理學の目次にならぬやう注意すること。

二、評定さるべき性行の項目は、幼稚園兒童に於て特に顯著に認められ、具體的に觀察し得られる行動上の特徴中から選ぶこと。この年齢的時期に於ては現れないで、後の時期に到つて漸く現れて来るやうなものや、またこの年齢時期に於て現れても、極く輕微若くは明瞭にしか現れないで、觀察し難いやうなものは省くこと。また純主觀的で保姆の人々が外部から觀察が出来ない事柄や、また推察はしても當推量になり易い事柄はなるべく避けて、兒童の言語舉動作業その他の具體的行動の上に客觀的に現れ、外部から比較的容易に把握し得られる方面だけを限つて評定すること。

三、性行評定尺度の項目は、特に幼稚園の保育に於て、實際に助成若くは矯正し得られる性行を選ぶこと。この年齢時期に於てはまだ助成若くは矯正が困難であり、または助成若くは矯正が反つて害悪があるやうな事柄、或は現在の保育方法を以てしては、到底助成若くは矯正が出来難く、たゞひ助成若くは矯正を試みても効果が薄いやうな事柄は寧ろこの期の評定尺度からは除外し、相當に助成若くは矯正の實を擧げるこゝが出来、しかもその結果が適切であり得るやうな

事柄を選んで、評定尺度の項目を定めること。

(乙)、評定の方法

四、児童の性行の評定は幼稚園の保姆の人々が現在の素養の範囲に於て實行し得られる方法を用ひ、特殊の訓練若くは長期の習熟を必要とする如きものは避けること。従つて所謂る實驗、検査等の面倒な方法よりは、日常馴れてゐる觀察を利用する方が、遙に適切であることになります。

五、しかしその觀察の方法も煩雜なるものはなるべく避け、保育中に自然に觀察し得られるやう工夫すること。保姆の人々が現在の勤務状態に於て、あまり時間と努力を犠牲に供しないでも、觀察し得られるやう配慮すること。

(丙)、記入の手續

六、児童の性行に關する評定は之を一定の様式に従つて記録に止め、その後の保育に活用しなければなりません。評定は單に記録することが目的ではないのですから、記入の手續は有用なる限りに於て、なるべく簡單にすることが肝要です。餘り細かな點數をつけたり、澤山の段階に分けたりすることは、面倒だけで、無意義なものです。私共は三段階か、精々五段階位にわけて、品評することにいたしませう。

七、記入は單に児童の性行の現状を靜的に示すのみに止まらず、保育期間中の發達過程を動的に現はし、陶冶の効果を如實に示し得る如く工夫すること。この場合も亦た煩雜に流れぬ用心は、どこまでも、必要であります。

(丁)、結果の利用

八、性行評定尺度は單に児童の性行上の特徴を知るのみに止まらないで、之を本として保育上の適性的對策が講ぜられ、また保育の効果を窺ひ、今後の保育の改善の懸りを得るやうでなければなりません。即ち之によつて各児童の性行を確めて、助長若くは矯正を要する教育上の力點を明にし、また助長若くは矯正の結果を各児童の性行の變化に求め、之

によつて保育の方法を吟味反省しなくてはなりません。保育は實に兒童の性行の評定より出發して、性行の評定に歸着すべきものであります。性行評定尺度は、保育の出發點並びに歸着點として、換言すれば保育の指針並びに監査として、相當に役立ち得るやう工夫せらるべきで、記入をするだけで能事畢れりすべきではありません。

三、性行項目の選定

性行評定尺度の制定に當りまして、私共は第一着手として、性行項目の選定のために、倉橋先生の御配慮の下に、お茶の水幼稚園みどり會員の方々の御援助を受け、次の試みをいたしました。

この試みは、幼稚園兒童に於て比較的に觀察し易く、しかも教育上有意義であり、その助長若くは矯正が難しくないやうな性行は如何なるものであるかを知ることを目的とするもので、之によく、用ひらるべき評定尺度の項目を定めやうとしたのでした。

私共は昭和七年秋、次のやうな印刷物を東京市内の幼稚園十數ヶ所に配布し、二ヶ年以上の保育の経験をもつ先生方に記入回答を求めました。

幼児性行評定尺度作成に就てのお願い

幼稚園名	貴名

今度お茶の水幼稚園で幼児性行評定尺度を作ることになりました。その資料を取捨いたしますに就て、貴下の御援助を仰ぎたく次の二ヶ條の御願をいたします。御迷惑乍ら御答へ下さい。

(一) 第一のお願い

1、下の五十二對の性質をよく讀み、保育上の御經驗から考へて、特に觀察しやすいと思ふ箇條には左端の番

號に圓「○」をつけ、特に觀察しにくいと思ふ箇條には番號に三角「△」をつけ、觀察がむづかしくもなければやさしくもないと思ふ箇條は番號をそのままにして置いて下さい。なほ敘述が曖昧で意味がわかりかねる箇條は、番號をバツ「×」のしるしで消して下さい。

2、一對の性質の中で、保育上助成したいと思はれるものゝ方へは括弧の中へ(+)、保育上矯正したいと思はれるものゝ方へは、括弧の中へ(-)のしるしをつけて下さい。また特に助成の必要の大なもの、若くは特に矯正の必要の大なものがありましたらⒶ若くはⒷのように(+)(-)に○をつけて下さい。なほ保育上助成若くは矯正の必要を認めず、自然に任せ置くべきものと思はれる箇條に對しては、括弧の中に記入をしな

いで置いて下さい。

- 3、右に聯關して、實際教育上助成若くは矯正の特に困難と思はれる箇條には赤線を引いて下さい。
- | | | | | | | |
|----|----------------|-----|-----|----------|-----|-----|
| 1、 | 氣むづかしい | () | () | 快活である | () | () |
| 2、 | 氣分にむらがない | () | () | 氣分が變りやすい | () | () |
| 3、 | 容易に感情を示さない | () | () | 無邪氣である | () | () |
| 4、 | つまらねこころを氣にかけない | () | () | 神經質である | () | () |
| 5、 | 物事に注意しない | () | () | 物事に興味をもつ | () | () |
| 6、 | 正直である | () | () | 嘘をつきやすい | () | () |
| 7、 | 興奮しやすい | () | () | 落ついてゐる | () | () |
| 8、 | 敏感である | () | () | 鈍感である | () | () |
| 9、 | 泣きやすい | () | () | あまり泣かない | () | () |

10、	思慮深い	(軽卒である	(
11、	あきつほい	(根氣つよい	(
12、	氣が散らない	(注意がまごまらない	(
13、	氣が弱い	(勝氣である	(
14、	亂暴である	(おこなし	(
15、	敏捷である	(まだるくてのろい	(
16、	ひまの厄介になりたがる	(自分のこまは自分でする	(
17、	自信をもつて行動する	(ひまの云ひなり次第になる	(
18、	陰氣である	(元氣である	(
19、	目的をきめて行動する	(行き當りばつたりである	(
20、	物事を知りたがらない	(知識欲がつよい	(
21、	工夫をこらす	(獨創的な所がない	(
22、	ものを粗末にする	(ものを大切に	(
23、	几帳面である	(だらしがない	(
24、	ひまりほつちで遊びたがる	(ひまと一緒に遊ぶ	(
25、	ひまのこまに干渉しない	(お節介をや	(
26、	よく喧嘩する	(あまり喧嘩しない	(
27、	ひまの面倒を見る	(ひまを助けない	(

28、	人真似をする	(ひこの先に立つ	(
29、	秩序を守る	(もめごみを仕出かす	(
30、	ひこのすることくに氣をこめない	(ひこのすることくに心をくばる	(
31、	自分の権利を守る	(自分の権利に無頓着である	(
32、	威張りたがる	(威張らない	(
33、	ひみに同情する	(冷淡である	(
34、	利己的である	(利己的でない	(
35、	親切をつくす	(不親切である	(
36、	我儘である	(自分勝手はしない	(
37、	容易に怒らない	(怒りつほい	(
38、	ねたみ深い	(ひこをそねまない	(
39、	おしやべりをしない	(おしやべりである	(
40、	だんまりやである	(無口ではない	(
41、	出しやばらない	(出しやばりたがる	(
42、	人前では氣がねをする	(他人のゐる所でも混亂しない	(
43、	すなほである	(剛情である	(
44、	ふざけたがる	(まじめである	(
45、	淡泊である	(執拗である	(

46、	無作法である	()	()	行儀がよい	()	()
47、	長上に服従する	()	()	やゝもすれば反抗する	()	()
48、	目が放せない	()	()	監督者がなくとも安心が出来る	()	()
49、	他人の批評に感じる	()	()	他人の言を氣に止めない	()	()
50、	ひきの物を欲しがる	()	()	ひきの物を欲しがらない	()	()
51、	卒直である	()	()	かくしだてをする	()	()
52、	よくすねる	()	()	あまりすねない	()	()

(二)第二のお願

目下保育中の児童のうちで、あなたが教育上特別の注意を拂つてゐられる児童が御座いましたら、その児童のもつてゐる性行の特徴中顯著なものを敘述して下さい。

この印刷物中、第一問の五十二對の性質は、児童が幼稚園の内外で一般に示すに覺しい性行上の特徴を手當り次第に拾ひ出したもので、しかも相互に兩極端をなすやうなものを適宜組合せて對にしてある。回答者は自分の平素の經驗から考へて、三つの質問に應じて、適當に符號を附して行けばよいので、わからぬ箇所は強めて答へなくともよろしい。

第二問は現に取扱つてゐる児童の中で、保育上問題となつてゐるか、或は特別に注意を拂つてゐる児童が、現に平素示してゐる性行上の特徴中顯著なものを敘述すればよいので、用語はむづかしい學術語を用ひる必要はありません。(未完)

聞き捨てならぬ父兄の聲

目白幼稚園 和田 實

幼稚園に對して、世の父兄の註文するところ、我子に對して、斯くして欲しい云ふことは、随分、色々なことがある、或は、宅の子供は行儀が悪くて困る。幼稚園でも

つみ、行儀を仕付けて欲しいとか、幼稚園へ出してから、言葉遣ひが悪くなつた、幼稚園は、もつみ、言葉遣ひを正しくす可きであるとか、或は、新教育の思潮に棹して、も

つみ作業主義を徹底させよとか、個性教育をもつ盛んにせよとか、まあ色々な註文がある。何れも、一應は、尤な

ことで、無氣に排斥す可きものでもないが、去りて、何れを採つて何れを捨つ可きが、取捨選擇、乃至は盛り合せ

には相當に考慮を要すること勿論である。

併し、是等の要求や新思想は今始めて聞く譯ではないから、別段、驚きもせず、慌てもしないことですが、其中で

最も、吾輩の氣になるのは、次の二項である。

一、幼稚園へ子供を出すに傳染病を負つて來るので困る。それで、宅では幼稚園へ子供をやらぬ。

二、宅では幼稚園へは、子供を就學前の一ヶ年しかやらぬ。餘り早くから、幼稚園へ出すに就學前の肝心な

時になつて、子供が幼稚園に倦きて行きたがらぬで困るから。

云ふ二つの傾向である。是は、實に、幼稚園の痛いところを指されたもので、私は内心に非常な衝撃を感じて居る譯であります。今其理由を少し述べさせて貰ひませう。

實際に於て幼稚園は、實に、能く、傳染病の媒介をして居ります。麻疹でも、百日咳でも、水疱瘡でも、大抵な小

兒傳染病は、今日は、重に幼稚園から、擴けて行くに云つても、過言ではありません。是は父兄に採つては、容易

ならぬことで、憶病の結果は幼稚園に子供を出したくなく

なるのも、一向無理ではありません。併し、是が爲めに幼稚園へ子供を出さぬ云ふことは、此一つの弊害の爲めに幼稚園教育の効果を抹殺するところで、是はちよ、角を撓めて、牛を殺す類の仕方ではないでせうか。傳染病を傳播する媒介となるものは、何も幼稚園に限るものでありません。幼稚園に出さずに、近所の子供を遊ばせて置けば、矢張り同じ様に種々の傳染病を感染して來ることは、決して、幼稚園と異なるものではありません。若し、幼稚園に出すことが、傳染病感染の恐れがある云ふならば、近所の子供を遊ばすことも、亦同様な恐れがある云はなければならず、従つて、幼稚園に出さぬとすれば、同様に近所の子供を遊ばすことも、止めなければ、趣旨は徹底しないことになりませう。然るに、子供を幼稚園にも出さず、近所の子供を遊ばせもしないことなるを、果して、夫れで、幼児教育を完成することが出来るや否や、大に疑はしいことになりませう。否、幼児教育は到底、完成することは出来ないでせう。して見れば、何も、幼稚園だけを恐れる必要はないことになりませう。併し、私の痛い感ずるのは、既

に、幼稚園が小兒傳染病に對して相當、危険性を持つて居るのであるから、幼稚園經營者としては、此點に關して、萬遺漏なき、豫防、消毒、の施設をして居るか、云ふことに對する自己反省の結果なのであります。私は、自分で私立幼稚園を經營して、茲に、二十年になります。其間隨分此點には注意して、幼稚園が斯る不幸な媒介をする様子では、申譯ないことであるから、常に、小心翼翼として、幼稚園の清潔、玩具其他の消毒には相當注意をして參りました。お蔭で大した失敗もありませんでしたが、唯一度、園兒が通園中に傳染病に感染したことがありました。夫れは一昨年のことでしたが、何處からか、猩紅熱を感染して來た子供が、父兄も氣付かず、勿論、吾々も氣付かぬ中に、同じ机に座つて居た友達三人にうつして居たことで、最初の一人が發病するを、引續き次ぎ／＼三日乃至一週間を置いて、他の三人即ち同じ机に向き合ひ、隣り合つて居た他の三人だけが、順々に發病して、幼稚園は其爲めに四度の大掃除、大消毒をしなければなりませんでした。幸に、傳播は此三人だけでしたので、ホツシしました

が、唯の一度でも斯様の事實があるに、何も夫れが、幼稚園自身の過失でも、責任でもありませんが、如何にも子供に對して、また、父兄に對して、氣の毒の感に堪えず、何にかして、幼稚園の衛生施設を、もつて完全にする必要がありはしまいかこの感を抱かすには居れません。最も、斯る場合、何も幼稚園だから、三人も傳染者を出した、幼稚園でなければ、夫んなに傳染はしまいか云ふ様なものではなくて、寧ろ、幼稚園だから、三人で食ひ止め得られたので、近所の子供の自由放任の遊び仲間の出來事であつたにしたら感染者が五人になるか、十人になるか、判つたものではなかつたに、云へるでせうから、幼稚園が出來るだけの豫防、警戒の手段を盡して居る以上、何も幼稚園に何等の責任はないとは云へ、斯る不詳事の度々起らぬ様萬全の策を講ずるは當路者として、當然の任務に云はねばなりませんまい。然るに、私立經營の悲しさには、園醫、看護婦等をして、充分、其任務を果さしむるだけの費用がない。従つて、吾々素人が常識的に出來るだけの努力を以て、園醫の指揮する處に従つて、掃除、消毒等を努めるに過ぎないのは如何にも物足りなく、申譯ない様な氣がします。最

も、現在の幼稚園で、最も衛生設備の完備して居る所とした所で、衛生室が完備して看護婦が、常任して居る程度だけですが、是だけでも、一般に普及するに於ては、大變な費用でせう。従つて、個人の經營する幼稚園としては中々困難なことであります。吾等は其必要を痛切に感じながら、貧弱な經濟の悲しさに泣くばかりである所に、前記の様な父兄のくり言を聞かされるので、痛い所を觸られた感が深い譯であります。吾等はモット／＼奮發して、幼稚園の衛生施設を完備せねばならぬことを痛感するのであります。

次には、第二項の、子供が幼稚園に倦きるに云ふことですが、父兄の此種の意見は、相當の範圍に擴がつて居るらしいので、聞き捨てになりません。併し、私の三十年來の幼兒教育の經驗から論ずれば、保育者に相當の素養があり、相當の教育愛と努力とがあるならば、斯様な苦情を受ける筈は決してないと思ひます。子供が幼稚園に通ひ倦きる所か、反對に子供は幼稚園に通ふことが長くなればなる程、益々幼稚園の仕事に興味を以て、通ふ様になる筈だと思ふのであります。現に、私の經驗する所では、永く通園して來た子供程、教育の効果は著るしく、子供は幼稚園に

來るこゝを唯一の樂しみとして日曜の休みも惜しいと云ふ程に熱を以て來るのが、普通であります。未だ嘗つて、子供が幼稚園に行くこゝに倦きて來ましたと云ふ報告を得たこゝちはありません。然るに、世間には斯る事實が相當にあるらしいのです。如何にも不思議なこゝですが、併し、考へて見れば無理もないと思はれる事實があります。夫れは、宗教的幼兒教育を主眼として居る幼稚園で、能く見るこゝですが、毎日、一定の宗教的儀式を嚴重に行ふばかりでなく、フレーベル式恩物の舊式使用法を嚴然と守つて、子供に自由を與へない様な保育をして居り、そして、一年中の保育材料が殆んど一定して居て、夫れを年々に繰り返すのみで、何等清新味を持たぬと云ふ遣り方の幼稚園が相當に多いこゝであります。即ち保育法が死んだもので、唯、從來の仕來り^{しきたり}習慣を繰返すに過ぎないと云ふ様な所が、存外に多數あるこゝであります。是は「幼稚園本來の使命が幼兒の生活の擴張に應ずる積極的施設其ものになければならぬ」と云ふこゝを忘れて居るこゝの誤れる保育でありますが、斯る停滞した保育の爲めに、幼兒の折角の伸展力を歪め^{ゆが}、遂には幼兒をして、幼稚園以外に、自己の生

活の擴張を試みしめることなるのではなからうかと思ひます。或はまた、保育者の眼が行き届かないで、幼稚園内に於ける一部勢力ある幼兒の横暴振りを管理する上に、遺憾の點があつて、氣弱の幼兒が夫れ等の強氣なものに、いつもくも壓迫されるこゝの不快から逃れやうとする爲めに起るこゝかも知れません。何れにしても、保育者の腕の不足や頭の働きの足りない所から來るこゝの結果で、決して、幼稚園其ものゝ本質上から來る缺陷ではないのでありますから、保育法其ものを改良するこゝに困つて、充分弊害を除去するこゝが出来ることは思ひますが、併し顧みて「汝自身果して、常に、清新味豊かな保育施設をして居るか」と問はれたらば甚だ汗顔の至りで、冷汗三斗を腋下に感ずる次第であります。幼稚園本來の使命が、幼兒の生活の擴張に應ずる點にありしならば幼稚園は常に、幼兒の生活が何を要求して居るかを、考查して、其純正な要求を如何にして満足せしむ可きかに就いて、不斷の努力をしなければならぬ筈ですが、實際は中々さう思ふ様には出來ないのが、如何にもお恥かしい次第です。是も亦、貧乏な私立幼稚園の悲しさですが、聞けば京

都のある幼稚園では幼稚園が自動車一臺を所持して居て、毎日交代に幼児の幾人宛かを園外に連れ出して、限られた幼稚園の廣さから、幼児を解放して郊外保育をして居る云ふことです。何んぞ實に羨ましいことではありませんか。大阪では自然幼稚園が盛んに是を實行して居られる様ではありませんか。實に、今日は最早是を夢に見たり、愚痴つたりして居る時代ではないと思ひます。何ぞかして實行しなければならぬ時代だと思ひます。吾々も、疾くの昔に、其必要を感じて居ました。居ましたけれども、及びもつかぬ猿の水月をあきらめて居たのです。あきらめて居る中に、年月はざん／＼経過して仕舞いました。今日は最早あきらめて居る時代ではありません。何ぞかして實現しなければならぬ時代になりました。が併し、悲しいことには先立つものがあります。夫れで、手も足も出ないのです。何ぞもごかしいことせう。此一つだけでも、幼稚園が積極的に施設することが出来れば俄然として全體の保育が生きて來るこゝ請合です。最早、色々な觀察材料なき馳けずり廻はつて探すこゝは要りません。手技手工の生きた材料は有り餘る程得られるのです。子供の見聞はざん／＼擴がりまゝ。其上に野外保育の効果は體育の上にも、忽ち、大な

る貢獻を持ち來します。子供はめき／＼三色つやは善くなり、健康は増して來るでせう。假令、一回の園外保育に五圓(自園の車があれば此位の費用で充分に郊外保育が出來ます)の費用を要するとしても月に一二回は實行出來るでせう。して見れば數箇の幼稚園が協同すれば案外實行も難事ではないと思ひます。此位の奮發は今日は最早夢に見て居るさきではない様です。私は保育の積極的施設の一つとして、眞先に是を實行したいと思ひます。是を實行することに因つて、兎角、退嬰的施設に甘んずる様な保育法を改良することが出來はしまいかと思ふのであります。

以上、衛生的施設を完成するこゝ、園外保育上の必要物たる交通機關を幼稚園自身設備するこゝ、目下の幼稚園に、最も喫緊の新設備ではないかと思ふのであります。此頃編輯の方から、目下の幼稚園に對する要求は何かご問はれたに對して、常日頃、夢に見て居り、もごかしく思つて居る所を述べた次第で、云はゞ、私の幼稚園の缺陷を我自ら曝露したに過ぎませんが、併し、御同様な感じを持つて居られる方も相當ありはしないかと思つて、何時かは御相談して、お互に協力する時もないではなからうと思つて居る次第であります。

ドイツに於ける就學前の 教育の發展に就いて

— アデーレ・メッナー —

白 根 孝 之 譯

本稿はドイツの家庭教育學者にして曾てベルリンの「新教派幼小兒保護協會」の役員たりしアデーレ・メッナー女史が、最近の「學校行政と學校監督」誌上に二ヶ月に亘つて載せた論文を邦譯したものである。

就學前の教育の始源

既に古くコメニユースの時代に於ても、ドイツでは、就學前の幼児の教育の必要なことは多くの教育學者によつて認められ、之に關する種々の意見が發表されてゐた。併しながら、此の時代にあつては、幼児の教育といふことは實際上専ら主婦の仕事であつて、従つて、當然家庭に歸せらるべき責任であるとの考から、彼のオーバーリンがワル

バッハに於て其の活動を開始するまでは、かうした意見を實行に移さうとした人は無かつた。

一八〇二年に、此のオーバーリンの仕事に刺戟されたリップペ・デトモルトの皇后が、デトモルトに、二歳より四歳までの幼児を收容する保護設備を設けたのがドイツに於ける就學前の教育——今日の幼稚園の濫觴である。此の設備は、仕事に追はれて子供を顧る餘裕の無い母親に代つて諸種の世話をするものであつて、永い間幼児の保育に關す

る唯一の機関であつた。次いで一八一九年にいたり、ハッ
ルのアウグスト・ヘルマン・フランケの孤兒院に働いてゐた
汎愛派のマドゼック博士が始めて「保育學校」(Verwahrs-
chule)と呼ばれるものを建てたが、間もなくそれはナポレ
オン戦争に由て夥しく増加した孤兒の爲の孤兒院となつ
た。

之等少數のものが幼児保育の機關として僅かに活動して
ゐるうち、一八一三年にサミュエル・スピタルフィールドの
有名な著書「生後十八ヶ月より七歳にいたるまでの貧困兒
教育の必要に就いて」(The Importance of Educating the
Infant Poor from the age of Eighteen Months to
Seven Years.)がロンドンに於て出版され、一八二六年に
ドイツ語に翻譯紹介された。之はオーエンの強い感化を受
けたウイルダースピンが、スピタルフィールドの「幼児學
校」(この教育組織に就いて公にした報告の中に含まれた
ものである)が折から産業勃興の氣運にあつた歐洲各國に少
からぬ影響を及ぼした。ドイツも亦それが例外ではなく、
先づプロイセンの政府が之に注目し、文部當局は各聯邦に

廻章を廻はして「幼児學校」(Klein-Kinderschule)の設立
をすゝめた。

幼児保護所 (Klein-Kinder-Bewahraustalten)

當時各聯邦は財政窮乏の極にあつた爲、直ちに此の廻章
の要求に應じるこゝが出来なかつた。一八三〇年にいた
り、ベルリンの一州の「貧民局」が各學校長と協力して一の
協會を作り、就學前の兒童の保護を目的とする多數の設備
を設けた。これが「幼児保護所」である。次いで翌一八三一
年には、各種婦人事業に従つてゐたヴィルヘルミナ・ゲム
ベルク夫人がベルリンの他の州に同様の機關を設け、一八
三三年には之等各種婦人團體が「就學前幼児保護機關設置
促進期成同盟」を結成して、三十四の「保護所」を設けた。
かくして一八四〇年にはベルリンだけで四十の「保護所」に
七の同盟が生れた。之等の機關は過度の勞働に従事し、
或は各種不幸な事情にある両親に代つて、二歳から就學時
期までの幼児に、必要な身體上、精神上の保護を加へるの
を目的としたものであつた。一八三四年の始に「保護所」は
學務局の監督の下に移され、年一回其の視察を受けるこゝ

に定められた。當時の學務局の或る報告書によれば「子供等は年齢に應じて或は砂場に遊び、或は遊戯、行進し、或は作業を行つてゐた」を記されてゐる。此の時代にあつては幼児の「保護」に任じた者は、特別の教育を受けない婦人であつた。

「幼児保護所」はプロテスタントの教會と連絡した事業であつて、特に一八三四年ゴッスナーによつて建てられた「ゴッスナー幼児保護所同盟」は教會と密切な關係を有してゐるが、子供の收容については素より信仰の如何は問ふところではなかつた。之等の「保護所」は一八三〇年代に敍上の諸氏努力によつて急激に發達し、幼児百人以上を一所に收容するものも少くない状態となるにつれて、保護活動に従事する者も一定の資格を必要とするにいたり、幼児に於ける作業及遊戯の意義、精神肉體兩方面の保育方法に關して或程度の知識をもつた男子、或は「オーエンの學校」に於けるが如き夫妻になつて行つた。

幼児學校 (Klein-Kinderschule)

「幼児保護所」と同じ理由に基いて、之は別箇に發生し

た就學前の教育機關にフリードナーの「幼児學校」がある。フリードナーは「プロテスタント修道院」の設立者として知られてゐるが、一八二八年イギリスを訪れてウィルダースピンに直接合ひ、その學校の實際を見ていたく感激し、歸國するや社會事業の一端として尼僧及信徒の女子に、幼児保育上必要な知識を授け、廣く一般の幼児を集めて保育に従事せしめた。これが「幼児學校」である。

當時教會は大都市や不便な田舎に託兒所を設け、尼僧が之を巡廻して託された子供の面倒を見てゐた。「幼児學校」は直ちにこの制度と結び、更に「オーバーリン協會」を設立しベルリンに近いノヴァーエスに「オーバーリン寮」を建て、保育事業に携つたピッシング等の努力によつて急速に發展し、十九世紀の終には全ドイツを通じて其の數約二千を算へるにいたつた。而して「幼児保護所」がその名の示す如く始めは全然社會事業的、託兒所的性質をもつてゐたに對して、「幼児學校」は始めから特定の教育（一ヶ年間）を受けた尼僧又は信徒の子女が保育に當り、嚴密なカリキュラムに従ふ教育的性質をもつ設備であつた。

カソリック派に於ても少数乍ら此と同様な試が同様な経過を以て發達して行つたが、此の派は教育を以て人間の信仰の結果、生活、經驗の所得を後の時代に傳へるものとして考へる爲、プロテスタント派の社會的・教育的な目覺しい活動とは異つて、其の事業は謂はゞ形式的のものにすぎなかつた。

幼稚園 (Kindergarten)

フリードリヒ・フレーベルがカイルハウに子供の爲の學校を建て、其の活動を開始したのは一八一七年のこゝである。それは三歳からの男兒を收容する學校であつたが、「寄宿寮」或は「家塾」でも呼ばるべきもので、保育を目的とするものではなかつた。併し従來の他の就學前の教育が一般の教育原理に従つて唯漫然と行はれてゐたのに對して、フレーベルは特に幼兒の爲の教育の意義を認めた最初の人であつた。一八二六年彼は有名な「人の教育」を著して自己の包懷する教育理論を公にし、一八三六年ブランケルブルクに於ける最初の學校を始めたが、其は「子供を單に監督の下に置くに過ぎただけではなく、其の發育の程度に應じた

作業と遊戲とを課し、以て彼等の身體を強健にし、彼等の感性を發達せしめ、彼の心を常に活動的に保ち、彼等に自然界の知識を授け、彼等の心を調和的統一に導き、かくして遊びの間にも子供を創造的ならしめることを目的とするものであつた」。

一八四〇年にフレーベルは自分の招集した集會の席上、彼の此の教育觀を説き、キンダー全國家が子供、ガルテン供の健全幸福なる發達をはかる庭——キンダーガルテンならねばならないと言つて、世の凡ての女性に對して彼の事業に協力せんことを望んだ。この大理想への第一歩として彼は先づ三歳から六歳までの幼兒を收容する最初の幼稚園を建て、家庭の教育を補足し、併せて幼兒の保育者たるべき者の教育、一般の母親に對する保育に關する教育を施したのであつた。然るに一八五一年フレーベルの思想はプロイセンの政府の忌諱にふれ、爾來一八五九年彼の死にいたるまで、プロイセンに於てはフレーベルの幼稚園は禁壓を蒙ることになつた。

然し乍ら幼稚園事業に世の婦人の協力を得てその効果を一層大ならしめんことを希つたフレーベルの遺志は、二人

の愛弟子によつて引繼がれることができた。即ち一八五九年、彼の死後幾何もなくフレールベルの思想を事業に多大の感激を寄せてゐたマーレンホルツ・ビュロー男爵夫人は、ベルリンに「フレールベル幼稚園建設促進婦人同盟」を結成し、フレールベルの死後一年の一八六〇年、三歳より五歳までの子供の爲の幼稚園を復興することができた。のみならずマーレンホルツ男夫人はヨーロッパの諸國をも馳せ廻つて、恩師の教育思想の普及鼓吹につこめた。夫人の力によつて生れた幼稚園は、フレールベルの眞精神よりもむしろ形式フレールベル式玩具や感性の陶冶方法等に重きをおく嫌はあつたが、全ドイツの大都市の殆ど全部が「家庭及社會教育協會」を設けるほゞ幼児教育の思想が普及したことは、一同夫人の功績を言はねばならない。之等の「協會」はいづれも幼稚園及び保姆養成の學校を設けて、保育事業に從つたのであつた。

マーレンホルツ夫人の手になつたものゝ他に「公立幼稚園建設期成同盟」なる團體が生れ、幼稚園教育の擴張に努力したが、その詳細は不明である。

マーレンホルツ夫人を同じうしてフレールベルの遺志の實現に努力した今一人の弟子に、フレールベルの姪シュラーデル・プレーマンがある。シュラーデルは十七歳の時、叔父と共に教育の研究に入つたが、フレールベルの死後、若い女に母としての準備教育を施すを目的とする學校を建て、其處で幼児の正しい育て方を、訓練された保姆の實習について觀察せしむる爲に、附屬の幼稚園をも經營したのであつた。この幼稚園は近隣の農夫や商人の子供の世話を一日のうち午前の三乃至四時間兩親に代つてするもので、フレールベルの生前其の學校で訓練を受けたシュラーデルの姉妹の一人がその任に當つた。併し此の學校に於けるシュラーデルの目的は、直接幼児の保育ではなく、若い女子にかうした方法によつて育児家事、その他一般の文化的内容を教へ、彼女達に賢明なる母、思慮深い女性、社會人としての準備を與へるにあつた。

結婚後シュラーデルはベルリンに移り住んだが教育に對する彼女の關心は決して消えなかつた。即ち彼女は大都市の諸種の事情に幼児の生育上幾多の障礙があることを知

り、「國民教育協會」なるものを創設し、以前の試ミ大體同様の目的をもつた女學校及附屬幼稚園を創め、叔父フレーベル及ベスタロッチーといふ二人の偉大な教育者の名前を記念して之を「ベスタロッチー・フレーベル館」ミ名づけた。特にベスタロッチーの、幼児の教育には家庭的雰圍氣が最も必要であるミの思想、或は作業教育の考へ、或は、人の最初の教育は婦人の義務であるといふ主張は、彼女が心から共鳴する所であつた。以前の學校で育てた弟子の一人マリー・リシンスカが此の學校の主任ミして働いた。ドイツに於ける就學前の教育機關は現在すべて幼稚園ミ呼ばれることによつても現されてゐる如く、フレーベルは此の方面の教育に於ける最も偉大な存在であり、而して彼の教育理論はシュラーデルによつて實際に發展せしめられたものであるから、茲に「ベスタロッチー・フレーベル館」の保育の實際に就いて稍々詳しく見てゆくことにする。

シュラーデルは、大都市の子供に缺けてゐる重要な教育的要素は自然的環境に於ける生活であるミ考へ、幼児教育に方つては特に此の點を重視し、一年の名季節或は特別の

行事を中心とする保育方針をこつた。例へば春の野邊の花を見れば、之に結付けて花から蜜をこつて行く蜂のこみを教へ、蜜蜂の箱巢や蜜蜂を見せ、秋になれば蜜蠟からクリスマス樹のロソクや菓子を作らせ、幼児を常に自然ミ日常の生活に接して育てるが如きである。かく自然を移りゆく色々の相に於て觀察し、時々の自然の産物を用ひて何かを自ら作るこみによつて、子供は自然の動植物の發育、生成及び人間ミの關係を知り、一面創造的能力を養つてゆくミ考へたのである。シュラーデルは又ベスタロッチーミ共に子供にこつては家庭ミいふ小さく温い社會に於ける生活が最も好ましいものであり、且又それはより複雑な社會的生活に入り行く基礎であり。人ミ共にする生活、人の爲にする生活これは幼児の教育上最も重要な一方法であるミ信じて、幼稚園では料理や掃除等の家庭的な仕事を行はせた。繪や手工も亦自己表現の重要な手段ミして彼女の幼稚園では保育上重要な役割を演じた。併し此の點で最も効果的なのは子供の自由な想像力に訴へる遊戯であつた。感性能力を發達せしめるものミしてはフレーベルの創めた遊戯

作業の各種の器具が使用されたことは言ふまでもない。然し讀書算數の術は此の幼稚園(三歳乃至五歳)では教へられなかつた。

保母の養成は母への準備教育といふ一層廣い一般的な方針によつて行はれた。

「ベスタロッチ・フレールベル館」はシュラーデルの努力によつて急速な發達を遂げたが、一八九八年にはシュラーデル夫人の意見に基いた今一つの「館」が新しく建設された。此の館の子供の遊戯室は六七人の一群に當てられた小さい部屋で、扉にガラスの窓を附け、子供の母親達がそこから遊戯の様を見るこゝの出来るやうにされてゐた。幼児の保育には家庭の協力を必要とするこゝは既にフレールベルの希望であつたが、「ベスタロッチ・フレールベル館」は幼児の保育と共に、其の母親に保育の方法を知らすといふのをも一つの目的とするものであるこゝは前記した所である。而してシュラーデルは、幼稚園教育の課程・方法・材料は家庭生活の正しい觀察から得らるべく、教育の結果は之に代へて家庭に送返さるべきものであると考へたのであつた。

幼児の健康養護については「館」に看護婦を置いて常に子供の身體の状態に注意し、月一度は醫師の診察を受けさせ、必要の場合には特別の處置に就いて子供の母親達に臨牀講義を依頼した。子供の食事は「ベスタロッチ・フレールベル第二塾」に呼ばれる家事學校で、栄養上に十分の顧慮を拂ひ入念に選擇調理された。「館」には又廣い庭園があつて、幼児はそこで遊戯や作業を行ひ、各人に小さい花壇さへ與へられてゐた。

之を要するに「ベスタロッチ・フレールベル館」は、幼児に對する保育——獨立に思考し、活動し、創造的且自己表示的作業、仲間の爲に或は仲間と共にする作業に興味をもち、環境の生活に關する經驗と知識を得て生活と經驗の自覺を發展せしめるに必要な肉體上、精神上の養育を中心とし、兼ねて若い婦人に對し女性の仕事と社會的意義を知らせ、賢明な子供の育て方、家事的仕事への躰け方等を教へ、種々の興味と社會的仕事とを與へる場所であつた。而してそれはドイツに於ける就學前教育運動の中心として諸種の運動を導き發展せしめた。一八七三年にはフレールベ

ルの學說を基礎として「ドイツ・フリーベル聯盟」(Deutsche Froebelverband)と呼ばれる團體が建設され、相携へてフリーベル主義の研究普及に力めるやうになつた。此の聯盟は現在も幼児教育の諮問機關として存續してゐる。

世界大戦時及其後の發展

一九一四年に彼の世界大戦が勃發する迄は、以上に述べた「幼児保護所」「幼児學校」及「幼稚園」の三種類の保育機關が相互に獨立に、並存してゐたのであるが、大戦はその他の人間生活の分野に於けると同様、幼児教育界にも劃期的な變化を起さしめた。

即ち大戦中はドイツの婦人はその殆んど全部が家を留守にして何らかの仕事に従事せねばならなかつた爲、その幼児の保育さいふこは重大な國家的問題となり、こゝに就學前の教育機關に對する需要が増加した。かくして今日の種々の保育機關(主として「幼児學校」及「幼稚園」)であつたが)の大多數は、大戦の中に建てられたものである。

戦時は幼児の榮養或は生理的狀態を正常に保つさいふ保

健・榮養の問題が、當局の最大の關心事であつた爲、就學前の教育に關する一切の機關はいづれも此の問題を中心として活動し、教育さいふ點は或程度まで閑却され勝ちであつたが、幼稚園の教育に當る者を養成する師範學校は(Kindergarten Seminare)漸次其の程度を高めて行つた。

大戦後は、ドイツの社會は新政府の下に各方面に急速な復興を遂げたのであるが、就學前の教育事業も亦大いに促進された。殊に注意すべきは此の事業には何よりも各方面の協力が必要であり、又全國的に之を統一する必要のあるこゝを説く人々が増加したこゝである。この要求に基いて生れたのが、將來の幼児教育を規定した一九二四年の「幼小兒保護法」“Reichsjugendwohlfahrtsgesetz”である。

之には「ドイツ州すべての子供は自己の心的・肉體的・社會的能力を發展せしめる上に必要な教育を受くべき權利を享有す」と規定されてゐる。即ち之を反面から言へば、國家が子供に對して教育を施すべき義務を引請けたのである。

若し兩親が何らかの事由で子供の教育保育の出来ない場合には、國家又は公共團體は之に代つて子供の要求するこゝ

ろのものを與へる義務があるのである。従つて此の子供の要求を知る必要が起り、國家は就學前教育問題の各方面の權威者を集めて委員會をつくり、保育に關する根本原則を定めんこした。此の根本法則には教育上の種々の問題は勿論、校舍、設備、遊戲の器具等に關する最も重要な事柄が規定されてゐる。

(1) 目的——幼稚園は家庭を扶けて子供の身心を世話し、之に社會的教育的理由によつて家庭に求め得ない發達の機會を與へるを以てその目的とする。

(2) 一般的規定——幼稚園は兩親の要求により、二歳より五歳までの一切の子供に對して、社會的若しくは宗派的差別なく開放さるべきである。

父兄は最小額の月謝を負擔す(其の額は經濟狀態によつて定める)。

(3) 舍屋——幼稚園は砂場のある庭園、少くも二十人毎に二つの部屋、料理場、浴場、携帶品置場、別室をもたねばならない。

遊戲室は北向きを避け、十分の廣さの空間と窓を有

し、容易に清掃し得る壁と床から成ることを必要とする。浴場には浴桶、シャワー、鹽、タオル、洗ひ布、鏡等を設備するを要す。

椅子は年齢に應じて高さを異にするを要し、各幼児に一つづつの戸棚を與へ、室内及調度は簡素、美、家庭的のいふ三の條件に適ふことが必要である。

鐵・金槌・釘の如き組立てに用ふる道具・紙・粘土・繪・樂器等の作業用の材料・器具・人形・ボール・動物等の玩具、空箱・小石・絲卷等の材料、出來れば小動物を各幼兒に與へること。

(4) 養護——少くも四週目に一度身體検査を施行し、榮養狀態に留意し、果實・野菜の攝用を勧め、毎日の日課は大部分戶外の遊び、休憩により十分の空氣、身體の運動をせらしめるを要す。

(5) 教育——教育は家庭的雰圍氣の中に身心の發達——感性・獨自力・創造力・社會的意識の發達を圖るを以てその目的とすべきである。

教師——幼稚園の教師は特別の師範學校 (Kindergarten Seminare) 卒業者たることを要す。その數は少くも二十

人毎に一人とし、一ヶ月に一度は母の會を開き、幼児の狀態の記錄、家庭の訪問等をその仕事の一部分とする。

斯くの如くにして政府が幼稚園の監督、經營、幼稚園教師の養成等に任ずるやうになつた爲に、主として宗教團體に屬してゐた晝間保育所の如き特殊の保育機關も漸次に統一され、二歳から五歳までの幼児の保育にあたる機關はすべて「幼稚園」と稱されるにいたつた。唯近時に於ける社會的若しくは政治的變遷に伴つて生れた社會主義者の團體「子供の友」(Das Kinderfreunde)によつて經營される幼稚園は、その設立の目的上個人としての幼児の保育よりも之を通して彼等の社會主義理論の實現を目的とする特殊の幼稚園である。

教師の養成

幼稚園の統制を相伴つてその教師を養成する師範教育に就いても特別の法制が設けられた。幼稚園の教師は之を保姆(Kindergartenin)と呼び、家事教育を加へたアメリカの女學校程度(ハイスクール)の豫備教育を必要とする。即ち此の師範學校の入學は十八歳以上の女子中等教育終了者たることを條件

とし、學習期間は一年半乃至二ケ年、學習課目は教育史、教授法、心理學、社會心理學、生理及衛生學、文學、兒童文學、自然科學、文化科學、紙・粘土・木材等を用ふる産業的手工、圖畫・音樂等を主とし、一週三回三時間づゝの實習を必要とする。

此の課程を了つた者は更に一年助手として實地の修業を積んだ上獨立に幼児を受持つことを許される。更にその後二ケ年幼稚園又は幼児家塾(Kinderheimen)に於て幼児教育の實際に携つた者は、師範學校の高等科——幼稚園の保育主任又は視學官養成の目的で特設されてゐる二年制の高等科に入學の資格を得る。この科は出生より青年期に入るまでの子女の綿密なる研究、両親の教育、教育學、心理學、變態心理學、社會學、教育、職業教育の問題等の他に、社會的乃至教育的各種施設機關内に於ける實習から成り、全課程の履修者は法規に定める國家試験を経た後、前記の地位に就き得る「青年指導官」(Jugendleiterin)の資格を與へられる。

以上がドイツに於ける就學前の教育の始源及び世界大戰

を中心とする其の發展の概略である。

最近の實情

世界大戰前に於ては幼稚園に收容する幼児は三歳から五歳の者に限られ、年齢に應じて之を二組に分けることになつてゐたが、大戰中に特殊の必要から二歳の幼児をも收容したのが現在まで續いて、今では二歳から五歳までの幼児を收容することになつてゐる。そこで之等の年齢——從つて發育の程度の異なる幼児を幾つかの組に分つことが當然問題になつて來るが、先づ「ペスタロッター・フレールベル館」が二歳の子供の二組を作り、特に生理上、肉體上の發達といふ點に重きをおいた保育を施すことにした。又此の組の幼児は特に此の年齢に於て犯され易い傳染病を妨ぐために、特別の制服を著せられる。保育の課程や遊戯の道具が他の組のものに異なるのは言ふ迄もない。

「ペスタロッター・フレールベル館」では又五歳の子供を特別の二組とし、基礎學校(小學校四年迄) Grundschule の仲介といふ意味から特に之を「媒介學級」Vermittlungs-

Klassen と呼ぶ、一層進んだ指導を豊富なカリキュラムを實施するが、讀書・算數は未だ教へない。その他の幼稚園に於ては主として保育者や保育室の不足の爲に、未だ此の年齢による組の區分は十分には行はれてゐない。但し遊戯や作業の種類によつて區分された幾組かがあつて、戸外の遊戯や食事の時にも各組毎に一所に集められることになつてゐる。

最近に於ける保育上の最も著しい進歩は、虚弱兒の爲に特別の考慮が拂はれるやうになつたことである。一九〇六年に精神的虚弱兒の爲の最初の組がシャーロットンブルグに設けられた。現在「ペスタロッター・フレールベル館」の保育學校には、精神上及肉體上の虚弱兒の爲に各々特別の組が設けられ、特別の取扱を配慮が加へられてゐる。

その他に最近の小學校——特に大都市の小學校には「小學校附屬幼稚園」(School-Kindergarten, Vorklassen) と呼ばれるものが設けられた。之は本來の幼稚園とは異つて、既に學齡に入つた兒童にして身心の虚弱の爲に普通の學校作業に伍すことの出來ない者の爲に、特別の世話と

取扱を加へる組である。即ちそれは前記の「児童指導官」(Jugendleiterin)の指導の下に、虚弱兒の爲に愉快な温い家庭的寮園氣を作り、感覺能力・言語能力・運動能力・體力の發展といふことを主たる目的とする。此處で或程度の補習的教育を受けた後、大部分の者は小學校に入れられるのであるが、特に虚弱の程度は著しく就學の困難な者は「保護學校」Hilfsschuleに送られる。此の幼稚園の保育と小學校の教育とを兼ねたやうな試みは、その良好な結果に鑑みて漸次擴張せられ、今では學校系統の一となりつゝある。

幼小兒童の保育・教育を掌る機關は全て、教育といふ目的の他に、兩親特に母親の側から生ずる社會的要求をも満たす任務をもつものであるが、最近の社會的情勢はますますこの要求を高め、多くの保育機關は單に二歳——五歳迄の保育兒のみでなく、當歳の嬰兒及學齡兒童をも世話する部門を置くにいたつた。後のものは「兒童保護所」(Kindergarten)と呼ばれ、此の世紀の始頃から著しく増加したものである。蓋し社會事情の變化といふことの外に、更に現

代の教育思想から言つて、兒童が放課後を街頭に過すといふことが色々教育的に考慮されるやうになつた爲である。是等の「保護所」は幼稚園に接置されるのが普通である。就學前の幼兒と學齡に入つた兒童とを一緒に收容する學校を特に「兒童晝間家塾」(Kindertagesheim)と稱し、「指導官」を以て塾長とし、十二乃至十五人の子供毎に一人づつ保母養成所の教育を経た助手を置く。

かうした就學前教育の進歩發展に伴つて、保育者の養成を目的とする師範教育も亦著しく擴張されつゝあることは言ふ迄もない。

次に幼稚園ではどんな日課が行はれてゐるかといふに、多少の差異はもよよりあるが大體に於て下の如くである。即ち日課は朝の七時から九時迄の間に始まる、此の時間は幼稚園所在地の狀況によつて異り、母親の要求希望に基いて定められる。中には九時から十二時迄開かれてゐるにすぎないものもあるが、大多數の子供は四時乃至五時頃迄は園に残つてゐる。先づ子供が集まるに「朝の歌」を唱和し、その後で普通は自由遊戯にうつる。子供は皆それ／＼遊び

の材料を入れる戸棚を與へられてゐて、それを以て自由に遊ぶのである。子供達は皆早い朝食をこつて來る爲に、午前の辨當としてサンドウィッチや果物を家から持つて來るここになつてゐる。それが終るミ音楽又はリズムの時間になる。是等はすべて、出來るだけ戸外で行はれる。幼稚園には滑り臺、はしご等の運動具は備へられてゐない。經費の關係もあるであらうが、興味も伴はないものも考へられる。それ故子供の遊びは主として砂場、庭園、球戲等を中心とするものである。それから新鮮な野菜、ポテト、時には肉の晝食が與へられる。午後の残りの時間は遊戯、お伽噺、兒童劇等で自由に過ごされる。

保育學校にはすべての子供に就いてその發育の情態を記録する保育簿といふものがある。その形式には一定した定めはなく、保育者の最も便利を考へる形式を撰んでいゝが、

(一)言葉——話——の綴り具合、發育の誤り、もつれ舌、吃音の有無

(二)色彩感覺——識別し得る色の數種類

(三)形の識別能力

(四)運動能力

(五)他の兒童との關係、社會的順應性、一般的舉動進退等は必ず記録されねばならぬ事項とされてゐる。而して記録に方つては特に試験的・實驗的な方法に由ることなく、日常の作業や遊戯の間に自ら現れる子供の性質・能力を注意深く觀察した結果によるべしとされてゐる。

保育學校では少くも月一回は母の會を開くことになつてゐるが、二週間に一回といふことに定めてゐるものが多い。母の會では特別の研究プランが定められてゐる場合もあるが、時々招聘する講師の講話の内容や、討議の題目等が自然に育児問題の中心となつて、相互に意見の交換が行はれる。席上父兄は學校で行はれる保育に就いて聞き之を理解し、又保育問題に就いて質問する機會が與へられる。學校は保育の効果を大ならしめる爲に、父兄の訪問參觀を歓迎し、時には幼稚園に必要な器具や玩具を設へつけるに方つて之を後援する。中には父母の爲に圖書館を設けてゐる幼稚園もある。併し教育を論じた書物は少く、特に兒童心

理について通俗的に書かれたものは稀であるから、圖書館は兩親の教育には直接にさして力があると思はれない。

保育觀

教育は單に教育現象の理論的考案を事とする科學でもなく、又教育の目的規範を定める哲學でもなく、一般的に規定するここの出来ない生成發達そのものを扱ふ點に最も重要な意義をもつものであつて、心理學・生理學・生物學・社會學・哲學等の補助學から得て來る教育理念は決して教育の第一義的なものではない。

現在の保育教育に關する諸種の意見はフレールベル、近くはシュプランガー、ナトルプ、リーツ、ケルシェンシュタイン等々の教育學說及び自然科學の新發見、心理學・文學の文獻等から得られたものであるが、其の主要なものを擧げれば次の如くである。

(一) 作業主義的理念——木・紙・絲等の種々の材料により各種の對象を取扱ふここのによつて子供の能力を高めるべきである。

(二) 部屋・床・食器・小動物等の世話をさすここのによつて

自發的活動の力を養ふここのが肝要である。

(三) 音楽・圖畫・積木・お囃・劇等によつて自己表現の能力を養ふここのが必要である。

(四) 保育者は取扱ふ事物の名稱を言はせ、幼児の環境に入り來る動物・植物・事件等に就いて話させ(それは第三の目的にも役立つ事柄であるが)或は繪本や物語り等によつて、幼児の經驗を了解させるここのが大切である。

(五) 感覺の發達——(イ)色紙・珠・花等によつて色彩及形式の識別能力を發達せしめ、(ロ)音楽その他各種の高低・音色を異にする音によつて聽感覺を鋭くし、(ハ)種々の物體や織物を取扱はせて觸感覺を發達せしめるここの。

(六) 自治・獨立の精神の涵養

(七) 社會的感情の培養

(八) 眞理・善・美に對する敬虔な意識を養ふここの。

最近の教育思想に於ては教師は漸次その地位を後退し、消極的・背景的な意義しか與へられなくなる傾向があるが、教師はここのまでも指導者であるべく、「外的には消極的に、内的には積極的」にここのが其の活動の原則である。

保姆は子供に幼稚園を楽しみ、之を我家に心からその作業に協同するやうな雰圍氣を作つてやり、子供が自ら解決できないやうな問題だけについて之を助け、尙進んで新しい觀念を呼覺し、環境を整へ、新しい技術を示して子供の自發活動を觸發するやうに心掛けねばならない。現代のドイツの保姆養成に於ては、子供を扱ふ技術よりも子供に對する態度、子供の經驗を理解する觀察力の養成にふ點に重きを置いてゐるのである。保姆は又子供の家庭生活に通じ、両親に常に親しい接觸を保つことを要求されてゐる。

子供を深く理解するには兒童心理學の他に種々の子供に關する文學書を読む必要がある。例へばゲーテ、シラー、ケラー等のクラシックから現代のトマス・マン、トルストイ、ワッサーマン等にいたる迄の諸家の手になつた諸作、偉人の傳記或は憶出の記等が之である。是等の中から例へば子供の最初の記憶、子供の眼に映つた成人の姿、新しい弟妹をもつた時の彼等の印象等について知り、之を子供の話や空想と比較して子供の世界について深い洞察を向け、之をよく理解することが大切である。かくて子供

を全體として、その型、本質を把握するなら、子供の個性特質に應じて正しく之を導くことが出来る。性格に人格の陶冶は各種の技術知能の發達に比して遙かに貴重なものであるとするのが、現代の新教育理念の一般的傾向である。

最近に於ける心理學の發達が就學前の教育に及した影響には小さからぬものがある。先づ精神分析學の影響は、潜在意識・精神的倒錯 (Komplex)・幼兒時代の重要視等の點に於て著しい特徴をもつ。之によつて保育者は子供を或種の行爲から未然に妨ぐことができる。幼稚園教育に及ぼした精神分析學の影響は創始者のフロイドよりもユングやキュンケルの方が大きい。ケラー、コフカ一派のゲシュタルト心理學も子供の觀察、その行動及學習過程を理解する上に少からぬ寄與を爲した。併し最も大きな影響を及ぼしたものは、各種の型の衝動・動機によつて各種の型の性格が生れるといふ型式心理學を唱へ、婦人の教育に於ける地位を尊重したシュブランガーであらう。保育の實際に就いてはウイリアム・シュテルン、カール及シャルロッテ・ビュー

ラーの功績が大きい。而して是等の心理學者の根本的思想方向は、子供を全體的に、環境の一構成員として、環境との關係に於て眺め、之を洞察してその構造・種類・特質を明かにせんとする點に於て相互に一致してゐるを見るこゝができる。

マリア・モンテッソリーの思想はその主要點に於てドイツ的な考へ方とは方向を異にするものであるが、保育思想の上に大きな影響を及ぼしてゐる。特に共同團體によつて設立された保育學校の人々は、彼女の教育方法を高く評價する傾向があるが、一般的に言へば、モンテッソリー主義はフレールの流れに屬するものによつて猛烈に反對されて來た。

幼稚園の監督と管理

現在ではすべての保育學校は國家の監督の下に立つてゐる。即ち保育學校の教育的方面に就いては文部大臣之を監督し、市督學官(Stadtschulrat)が巡視する(ここに定められ、新しく保育學校を設立する場合には各州教員團(Provinzial-schulkollegium)の認可を必要とする。而して社會的方

面については保育學校は内務大臣の監督に屬し、「衛生部」及「兒童局」の協同を得てその管理に任ずる。

保育學校の幼兒は各州兒童局の監督を受ける。兒童局は家庭に於て適當な保護を受けてゐないことを認める幼兒を、其の手によつて幼稚園に入れることが出来る。是等の幼兒は他のものは優先的に扱はれ、月謝は兒童局を経て共同團體から支出される。保育學校は其の保育經過を特別に記録し、四週毎に當局へ報告する義務がある。

幼兒の保健・衛生に關しては、兒童局が特定の校醫を送る地方もあり、小學校の校醫が之を兼任する所もあり、又専任の校醫を置く保育學校もある。醫師は入園前の幼兒を診査し、且つ四週間毎に學校を訪問してその状態を検し、著しく健康状態に缺陷ある幼兒は特別に配慮を加へる。傳染病の發生は即刻届出でねばならない。又巡回乳母なるものがある。是等身體上の養護の他に、精神上の保健を目的とする少數の設備がありベルリンの「ルート・フォン・デル・ライエン」の設備は就學前の兒童の精神的保健に任ずる最も有名なものである。

結 語

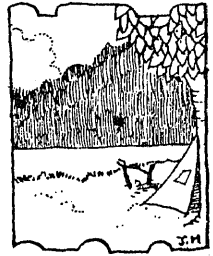
三二

ことができる。研究の目的で大學に置かれた保育學校は一面がない。

一九二九年にベルリンには四百の「晝間家塾」があり、收容兒の三分の二は就學前のものであつたが、之は未だ必要な數の四分の一にしかあたらない。經濟生活の壓迫が加るにつれて家族の數は漸次減少する傾向があるが、現在の多くの家庭の如く子供が只一人しか無い場合、之を幼稚園に入園せしめるこゝは最近の就學前教育の一の問題である。なぜなら兄弟の無い子供にまつては幼稚園の保育さいふこゝは特に大切であるから。又經濟上の原因に基く今一の結果として、狹隘なアパートに於ける生活は、幼兒の身心に著しく悪影響を及ぼしつゝある。かゝる状態から幼兒を護るべき教育上、社會上の方法を講ずるこゝも、現在のドイツの保育學校の一任務である。

以上

ドイツの就學者の教育状態は大體に於て上に述べた如くであるが、特殊の點に於ては各地方によつて發達の程度を異にし、小都市や田舎では一般に發達が後れてゐる。プロシア始め大都市地方に於ても、特別の事情にある地區の幼稚園の標準を高めんとする努力は十分に拂はれてゐるにも拘らず、發達の程度は區々として統一がない。社會的事情が非常に低い地區に於ては、衛生・保健的方面の顧慮が主になつて、教育的方面は第二にされてゐるのも已むを得ない事柄である。中には又両親や諸團體の保育に對する關心が十分に發達してゐて、幼兒の生育に必要な思はれる一切の設備が行届いてゐる所もある。又特定の社會階級・職業階級に屬する家の子供のみを收容してゐるものもある。保育者養成の爲の試行的保育學校(Versuchsschule)は他のものに比して遙かに發達してゐる。ドイツの大學は今日では未だ就學前の教育に對しては頗る無關心であると言ふこゝ



六月の觀察

東京女高師附屬小學校主事

堀

七

藏

一、

六月幼児に觀察せしむべき事項は甚だ多い。農村の幼稚園では田植の有様でも、よた田畑耕作の有様でも、面白い觀察の材料である。また舊曆で五月節句を行ふ所では、菖蒲も觀察の材料となり、吹流し、鯉のぼりも觀察の材料とせねばならぬ。みみずでも蛙でも、亦蝸牛でもかめでも、金魚でもたにしでも、ごぜう、めだかでも、更に蜜蜂でも毛蟲でも、くもでもありでもはちでも、いろいろの動物で幼児の觀察材料となるものが多い。植物でもあざみ、にがな、なつな、きんほうけ、かたばみ、へびいちご、いたごり、するば、ちまこぐさ等の雜草から、そらまめ、えんごう、きうり、いちご等、觀察材料が多い。ばら、栗、柿、麥等も隨時觀察させねばならぬ。枇杷、櫻、桃、梅等の果實

も觀察材料とせねばならぬ。又いろいろの植物の葉を集めさせることも面白い作業になる。大きな葉、小さな葉、ぎざぎざの多い葉、すべくした葉、ざらくした葉、細くて長い葉、圓い葉等、いろいろの葉をさがしめる事も面白い。また六月は全國梅雨期に入るから、雲の形や走り方、雨の降る有様、雨後庭に出来る小川等の觀察も面白い。

二、

廣口瓶にありまきのついたばらの小枝を入れ、その中にてんまうむしを飼つて置かしても面白い。またありの巢をさがさしめ、ありぢごくのゐる所を見付けたならば、その活動する有様を觀察させるもよい。はちの巢を見付けたならば、決して石を打ちついたり、棒でたたくやうな悪戯をさせず、またはちにさへれないやうにばらの活動を觀察

させる方がよい。きんぼが出るきんぼをさせるもよいが、その腹を千切るやうな残忍な行動をさせないやうにせねばならぬ。

またかめでもきんぎよでも飼育させ、かにでもかたつむりでも、矢張り觀察の材料させねばならぬ。幼児が喜んで採集し、飼育せんとするものは、その何たるを問はず觀察の材料に利用せねばならぬ。

おたまじやくしはどれも小さな蛙になるものであるが、おたまじやくしを飼育して置けば、蛙になつたものが空気を呼吸するこぎが出来るやうに、おかをこしらへてやらねばならぬ。かたつむりは乾くミ殻の中に入つてゐる。一ヶ月も殻の中に入つてゐても死なぬ。水分に富んだ土や草を入れて置けば、殻から體を出すものである。かたつむりは幼児の面白く觀察するもので、かたつむりの競争をやらせるこぎもよい。かめを洗面器に入れて飼つて置くこぎも面白ものである。かめの甲羅を踏むこぎにつぶれるものであるから嚴禁せねばならぬ、しかしかめは多少無理なこぎをして一向差支ないから、いろ／＼に實驗して幼児に觀

察させるがよい。金魚も飼育して幼児に觀察させ、世話させるがよい。えびやめだか、またふなやぎせうのやうなものを飼育して觀察させるのも面白い。或はいろ／＼の水蟲を採集して飼育し觀察させるこぎが出来るこぎ一層面白い。

三

おたまじやくしを飼育するには、古い洗面器か硝子鉢の眞中に石を入れて、水面から多少出る位になし、それに土ミ枯葉ミ水藻なごを生かして、池の水を入れて置く。この水族器におたまじやくしを十二三も入れて飼育し、日光の直射せぬやうな所に置く。

深い硝子鉢に水氣に富んだ水ごけなごを入れて巢こなし、それにかへるを飼つて置くこぎよい。蛙の觀察には水を入れた硝子鉢でもよいが、おかをこしらへて置かぬミ死ぬから注意せねばならぬ。

かひは水族器又は硝子鉢に、池や小川の水を入れて飼育するこぎ面白い。四五日もせぬ中に小さな卵を産むものである。たにしでもものあらひがひでも、また川になでも面白

い。ふもりを、おたまじやくし、一所に飼つて置くに、皆おたまじやくしを喰つてしまふ。

かたつむりを捕へて硝子鉢なごの水族器に飼育するによい。大きなかたつむりはよく卵を産む。さげうでもめだかでも、またこひ、金魚、ふな等の魚類を飼育するにも相當の注意が必要である。ふなは硝子鉢に、そのゐたところの水を入れ、水草を入れて二三日飼つて置く。そしてその泳ぎ方なごを觀察させたならば、またもこの小川や池に放して置くがよい。

もしえびを捕へるにこぎが出来たならば、そのゐたところの水を硝子鉢に入れ、僅かの水草なごを入れて置いて二三日飼つて、よくその泳ぎ方を觀察させるがよい。

四、

金魚を飼ふには硝子鉢に清水を入れて直射日光の當らぬ所に置く。小さな鉢に數多く入れてはならぬ。成るべく大きな鉢でも二三尾に止めねばならぬ。そして水草を入れて置き、水を取替へぬやうにせねばならぬ。金魚は食ひすぎるとは膨れてころり〜と死ぬから、餌は成るべく控

へ目に朝夕二回與へる、そして食残りが全くないやうにせねばならぬ。害虫にやられた金魚は元氣がなく、いろいろやが悪くなり、魚群をはなれて水底にゐたり、水面へ背を現はしたりする。そして少しの物音には驚かなくなる。糞の黒く長く續くのは健康な金魚であるが、糞の白いのは餌料不足か、病氣である。糞のきれいなのは病氣の證據である。金魚の主な病はその體に白斑を生ずる粗腐病、鰓や口の腐る鰓腐病、鱗がさか立つ松皮病、尾鰭がたゞれるびらし病、體が白絹をつけたやうになるねまり病等である。

多くは病魚を他に移し、池水の消毒、水替を行ひ、うすい鹽水で病魚の體を洗ひ、滋養物を與へるに次第に恢復する。金魚にしらみが寄生するに、池なり容器なりのふちに體をこすりつけて泳ぐから、白い茶碗等に入れて蟲を發見し、蟲をこつた跡に煙草のうすい汁をつけてやるがよい。

金魚はわきん、りうきん、らんちう、でめきんの四種が原種である。わきんは一本尾で最も鮎に近い形をしてゐる。體は細長く、各の鰭が短い。性質は強健で割合に多く飼育せられる。色は薄赤ミ、少しづつ模様のあるものもある。

りうきんは尾が三つに分れ、一名尾長きもいつて、胴が短く腹が膨れ、きの鱗もよく發育し、尾が大變に長い。

らんちうは一名まるこきもいふ。胴や鱗が短く、尾は三つ尾で、脊鱗がない。頭に肉こぶの出來たものをしらんちう、こいひ、出來ないものをらんちう、こいふ。

でめきんは體は細く、眼球が飛出てゐる。色は黒、赤、白、黄等で、中にはふのつたものもある。

りうきん、しらんちう、このかけ合せたものにわらんちう、わきん、しらんちう、こできん、らん、わきん、こでめきん、をかけ合せてしゆぶんきん、りうきん、こでめきん、をかけ合せてきやりこ、らんちう、こでめきん、こかけ合せてでめらんちう、わきん、りうきん、こでわきん、こが出來てゐる。かく金魚は四種の種類からいろいろの種類が多く出來てゐる。

五、

かめはいしがめを飼育して觀察させるがよい。蚯蚓を入れて置けばそれでよい。

いしがめは池、沼又は川に棲む。脚で水をかいて巧みに水中を泳ぐ。脚には五本の趾があつて、趾の間に蹠があ

る。趾には丈夫な曲れる爪がある。只後脚の小趾には爪がない。かめは時々岸又は岩なきに上つて休む。此時頭及び頸を甲の中に深く縮め入れ、脚及び尾を曲けて甲の中に隠し、此等の軟き部分を保護するものである。しかし僅かの音にも驚いて忽ち水中に逃けて入る。陸上を歩む時も物に驚けば、軟き部分を甲の中に隠して急に止まるものである。

かめの甲は胴の皮である。胴の皮は堅くして、その外面は細き溝によつて多くの六角形、五角形、四角形等の部分に仕切られてゐる。この皮は内側にある骨を固著して恰も箱の如き一つの堅き甲となり、たゞ前側と後側とのみが軟くなつてゐる。頭、頸、尾、脚には軟き皮の外面に多くの小なき堅き鱗がある。それで胴は屈伸することが出來ないが、他の部分は自由に動くものである。

龜の頭の前端には、左右の鼻の孔がある。龜は水中にゐるさきにも、時々鼻の孔を水中に出して空氣を呼吸するものである。金魚、ふなの如き魚類でも、おたまじやくしでも、鰓で水にまけてゐる空氣を呼吸するものであるが、蛙でも鰓でも、肺で空氣を呼吸するものである。

龜の口は大きくして廣く開くこゝが出来。これに上下の顎があり、顎の皮は甚だ堅く、且つその縁が薄くなつてゐる、食物を嚙切るに適してゐる。齒がないけれども、顎で魚、かへる、蟲なぎを捕へて食ふのである。

また龜の頭の左右兩側に眼があり、眼の後下方に圓く皮の張つた所は耳である。顎の皮は甚だゆるくして、その中に頭を縮めて入れるこゝが出来るのである。

いしがめは夏陸上に上り、水に近き所に後脚で地を掘りて穴を造り、その中に卵を産み、その上に土をかけて穴を埋めて去るものである。卵は太陽の熱で温められ、孵つて小さきいしがめ(卵より出で、間もなき小さいものを、せにかめ、こいふ)となり、土をかき除いて地上に出で水中に入るものである。昔から龜は萬年と稱し、著しく長命を保つ動物である。

六、

柿は五六月頃花が開く、これを絲につないで頸飾りをつくるに面白い。

柿の花は葉の枝に著ける所の内側から出た短い柄の先に

著き、下に向いて開くものである。花には雄花と雌花とある。雄花を見るに、萼は綠色で四枚に分れてゐる。花瓣は白くして黄色を帯び、四枚あつてその本は相合して壺形をなし、先は四枚に離れて外方に曲つてゐる。花瓣の壺形の所の中に多くの雄蕊がある。雄蕊の囊は形長くして、熟するに淡茶色となり、中から白い粉を出すものである。

雌花を見るに、萼は雄花の萼の如く綠色にして四枚に分れてゐるが、遙に大きい。花瓣は雄花の花弁と同様であるが、稍々大きい。花の中心には一つの雌蕊がある。その本は丸く膨れ、先は細くして四本に分れ、更に二又に分れてゐる。花瓣と雌蕊との間には十本許の雄蕊の如きものがあるが花粉を出さぬ。

柿の花には蟲が飛來り雄蕊の出せる粉は蟲に著きて雄花より雌花に運ばれ、雌蕊の先に著く、雄花は早く散落ち、雌花は残り、その雌蕊の本の膨れた所は次第に成長して果實となり、萼も果實の本に著いてへたくなるのである。柿の葉にはえらひしと稱し恐るべき毛蟲がある。注意して觸れないやうにせねばならぬ。

年長組の新保育期に (三)

新庄 よしこ

發表力

幼稚園生活で、幼児の把握力と相共に發表力に就いて如何あつかふべきかを考へて居ります。これは考へるさいふよりむしろ、かなり以前からこれについては工夫もし、努力もしつゞけて参りました。

幼稚園での保育の一日を觀みれば、多くの場合が、おはなしは先生が話して下さるのを黙つて聞いて居ればすむ、無言で、クレオンを、色鉛筆を、鋏を、動かしても濟む、水の中を泳ぎまはるおたまじやくしを觀て居ればいゝ、だまつてお遊戯をし、唱歌は、機械的に口を動かしてゐる。これはまあ極端の例ですが、無言で一日の保育を何の差支えもなく受けられる場合もありますので、保姆の方では一層發表力について相當の苦心をすべきではないかと思

ふのでございます。

年長組の新保育期にさいふ題のもこでは少々遅いので、把握力とは異り、これはむしろ年少組の始めから心がけ置くべきことではありますが、殊に年長組にもなりますれば、積極的に發表する機會を作つてやるこでも申しませうか、單なる個人對話に止るのみでなく、幾分意識性を含むものも存じます。

如何いふ方法で、發表力の養成をつゞけて参りましたかについて便宜上別けて申して見ませう。

- 一、談話
- 二、製作
- 三、テスト

の三つの場合があります。

(一) 談話の場合

これは年少組の最初から心がけておくことで、入園當初の談話は、談話の主目的よりもむしろ保姆の親しみを深めてゆくためにも申されませう。おはなしが最も親しみをましてゆくよい方法と思はれまして、はじめは、しかも昨日と同じはなしでもかまひません。否却つてこの場合いろいろの話をさりかへ引きかへするよりも同じ話を二三度おもしろく聞かせる方がいゝと存じます。追々親しんでゆく中に、いつも先生のおはなしを聞いてばかりは居ないで、すんぐ自分の思つて居る事を發言してゆく子があらはれて来る。友達に惹かれて、發表型の子は黙つては居ないで相ついで話しかけてくるといふことで、組の先生は、

凡て、A、B、C、D、……は發表型、X、Y、Zはさうでないといふ事がつきり解つて参りませう。さてそれから、先生は機會に、A、B、C、D……の方の聴き手、さなると同時に、X、Y、Zの言はうとする力を少しづつ引き出してやる、育てゝやる、これには何より個人對話の機會を多く持つといふことでございませう。

又、或る時は、ごく易しいことを幼兒一人づゝに必ず發言させても見ます。例へば、一人づゝ名をよんで、返事をハイといはせる、何でもないうで、なか〜いへない子があります。又自分の姓名、——僕は太郎ですと云つてみませうなと、申しますと始めは全然云はない、次に太郎と聞えるかきこえない位で云ふ、次の時は、僕は太郎、さつきりいふ、又僕は太郎ですと、いつの間にか立派に云ひ得る經過を通つたことは度々ございませう。つまり何だか言ひ澁りがちなものが、こゝにそのものがごく易しいので、云つて見たら案外わけは無かつたといふ經驗を度々味つてゆく中にすら〜と發表が出来るこゝがございませう。

他に發表の機會を作るといふのは、夏休み前の一日、冬休みの前さか、保育期の終り目毎に集りを致します。保姆の心の中では、發表會のつもりなのでございませう。

(一)する事を前日に約束してかいておく。

保姆は幼兒一同にかう申します。

「あしたは、みんなが一人づゝおはなしをしたり、唱歌

をうたつたりして遊びませう。次郎さんは何をしませう。」

勿論次郎は何でもすらく云へる子です。

「僕お唱歌」

「何をうたひませう」

「タンポポと汽車」

先生は、立つて行つて黒板にシヨウカ、タンポポ、キシヤ、ジロウミかいておきます。かうして黒板には、

一、シヨウカ、タンポポ、ジロウ

キシヤ

一、オハナシ

マサコ

一、オハナシ

ミツチ

一、ユウギ ハルガキタ

マサコ
ヒロコ
サダコ

一、……

一、……

こいふやうに、プログラムをかいておきます。つまり突然ではなく、約束による発表でございます。かう申しても

ごく淡いもので、親へは申しませんし、稽古して来るなごゝ厭味なごこはないやうでございます。これ程でなくごも自ら集つたグループで致す事もございます。

(ロ)ごく内輪の集り、

別にお客様をよびません。いつも一緒に居る先生ご、お友達ばかりでございますので、上手下手で先生も幼児も氣苦勞するごこなしに楽しく過すごこが出来ます。

この集りで、年少組の場合は、する子もしない子もあるごこはいふ迄ありませんが、年長組になりますご、ごく特殊な、つまりその子の無口ごいふごこが人並みでなく、幾分痼疾性のものである以外は、相當に発表が出来るやうになるご存じます。

(二)製作の場合

幼児の發表力に申しても、何々大學の辨論部でするのこは全然異なるのでありまして幼児の場合は保育を受けつゝ、至るごころで養はれてゆくものでございます。只今私の室で二年計畫で、東京驛の賣店から始つて、切符賣場、改札

口、荷物受付、を發展して参りました。これを計畫する最初に、製作さいふ區切られた觀念ではなく、幼児のあらゆる生活々動を基にして始めましたことでございます。勿論毎日このことで暮して居るわけではなく、時々すれば一日中手も觸れないさいふ日もございますが、しづかに眺めて居ります。切符賣場で、賣店で、荷物受付で、かなりさころでなく、大いにこの發表力が養はれてゆくのを見まして、個人製作に或る意義を見るに、相互關係をあらはし得る大きな協力製作が是非必要であることを深く知つたのでございます。

例へば賣店の場合は申す迄もなく、賣り手を買手まで、互ひにはなしをし合ふことはわかつて居りますが、キップ賣場でも、同様、大磯迄のキップを下さい、僕は滿洲に行くんです、三人で行くから三枚下さい、急行券も下さい、さいつて買ふ、キップを買ふのに無言では出来ないことですから必ずそこには發言を必要とし、見てゐます。相當に廣い範圍で話し合つて居ります。

旅行の爲にトランク、荷物なき作つて居りますが、是れ

も汽車に積む時に、下關迄願ひます。ミカ、この荷物の中にはガラスがはいつてゐますから大事にして持つて行つて下さいと云つて、そのトランクを、特にしづかにあつかつてゐるなきの光景を見ます。又、東京驛に電話が無くちやつまんないさ申すので、苦心して、電話をつくりました、勿論二つ。事實は遠距離に置くべきですが、兩人の話の進展を思つて、近くに備へつて置きましたところ、これこそ大いに發表力を養ふものになつたことに喜んだのでございます。互ひに話し合ふそのはなしは、次から次へまことにおもしろく廣がつてゆくのでございます。

殊にこの生活々動を基にした協力製作によつて養はれてゆくいろ／＼のこころ、觀察力、把握力、發表力、製作力なきが、まことにわざみらしからぬ養成機關となつてゐる様に思はれて保姆にまつてはまことに興味深い研究の對象であるさ存じます。

(三) テスト

最後には、所謂テスト、是れにあたるよい言葉を知りま
(以下四九頁下段につゞく)

世界人形行脚記 (二〇)

——世界教育大會より歸りて——

フレーベル館社長 高 市 次 郎

▽ヴェニスからウキンへ△

私たちはヴェニスに二泊の旅程を了つて、愈々汽車でウキンに向ふ。午後三時四十分發。汽車は幾たびか河を渡つて、左に見ゆる大アルプスの屋根、ユリアンアルプスの山脈を越すミ塊太利、即ちティロルアルプスの大觀はこれより遙に左。

汽車は暮地にヴィラク、クラীগエンフルト等の各驛を過ぎて、東方アルプスの山又山、谷また谷を縫つて、曉に近い夜行列車の窓に清々しい嵐氣の忍び込むのが感ぜられる。聽て着いた驛はブルック、こゝはグラーツを経てユーゴスラビヤへの分岐點、地動説を唱へて、所謂ケブレルの法則を確立した近世自然科學の創始者ケブレルの遺跡は

グラーツの斯うした山の中にあるといふ。

列車は谷を渡り山を越え、シユチーベルグ、ヒューレック、タール等の各山に圍まれたセンメリングの峠は朝明けの空に、車窓に、寢不足の私たちを迎へて呉れる。これからいよく二時間あまりでウキンに着くといふ。此の邊はウキンの都會人の避暑地であり、また冬期の遊び場になつてゐます。

朝八時、ウキンの南停車場に着。

▽「小さき巴里」ウキン△

全歐羅巴の中心として、塊太利は、東方帝國としての華かな歴史の頁にまかれて、今やあはれにも歐洲大戦役に於ける敗戦さ、かの革命さの瘡痕に喘いで、國際聯盟の保護

の下に悲しくもその敗慘の姿を保つてゐるのです。あゝ、音楽の國、美術の殿堂、將たまた學術の發祥地ミして燦然

がに老舗を偲ばせる「寂」をもつた落ち付きがあり、衝區の典雅なる趣きも「小巴里」の名に背かないものがあります。玩具店なきも誠に立派な店

も今や殘燈の灯影仄かに息づく一弱小共和國にしか過ぎない。過去三千萬の人口も、今は實に六百萬に減少した此の國、その首都ウキンも百八十八萬の市民を擁するに過ぎないのであります。

があり、私はこゝで随分澤山の買物を致しました。

▽アッパート

メント△

ウキンで觀たうちで私の心を惹いたものはアッパートであります。

國家本位の社會主義的共和國社會施設の一つミして勞働者の爲めのアッパートが出来てゐました。

高燥な四階建の鐵筋コンクリートの建物が幾棟もできて

り文化の都、經濟の中心地として今猶ほ東歐に冠たるを思はせませます。行き交ふ市民も上品であり、軒を並べる大商店も、さす

みて、それに圍まれた中庭は柔かい一面の芝生、そこに花壇が設けられ、色とりざりの美しい花が今を盛りに咲きは



(照參文本) 形人逸獨

た來出で戸瀨が面顔は右、たしまめ需で林伯もれ何、面顔の製ドイロルセの肉い厚る顔は央中、でのもすましたい曲風に由自が節關皆、面顔の製戸瀨は左

こつてゐます。そして芝生の間のコンクリートの舗装道路には幾人かの子供が群れ遊んでゐました。

見物人はそれでも此の中庭へ入れるのです。

このアッバートの一世帯の部室さいふのは三室であつて、それに風呂、便所が附随し、暖房装置も總て行き届き、瓦斯を燃料とする炊事場があり、寢臺三個が備へられてゐて、日常の居住に事缺くことなく完備してゐます。そして大形の窓には一間ほぎの露臺がつけてあり、秋の草花が澤山に咲いてゐました。賃料一箇月、邦貨にして約七圓ほぎ。住つてゐる人は主に勤勞階級の人々のやうに見受けられました。



(照參文本)具玩と形人おの逸獨

部全、アリテ・シッチコス、犬ドナーバ・トンセラか右すなズーボに由自て總曲屈の製屬金、形人化道の彫木、トツセのへかぜき形人おは後背。んさ査巡の逸獨るすまゐていつがと櫛と鏡てゐてつ揃でま着下らか衣上

この一棟のアッバートに實に一千五百世帯を抱擁してゐるのです。

これは何れも國家として社會政策上、建設されたもので、猶ほ他に數ヶ所のかゝる設備があるさいふ。

▽伯林へ△

私たちは、あの典雅な趣の首都ウキンに別れを告げて、塊太利から獨逸へ遍路をつゞけるのですが、さて、日を限られた忙しい旅ではないが、東洋の物情、兎角騒然たるものがあり、かの、柳條溝事件を發端として日支衝突の事も、有田大使にお目にかゝつた際にきいて、はじめて知つたので、シベリヤ經由の歸朝はさうやらあやし、何さなく前途をいそぐ心もちは一行の胸裡に去來して

るたのです。

午後十一時十分、ウキン發伯林への汽車は私たちをまつ

てゐるのです。チェツコスラ

ブキヤへは下車せず、伯林へ

直行しようよ、私たちは早速

列車中の人ミなる。樂聖シユ

トラウスの「ウキンの森」も

「美しくみぎり流るゝドナウ」

の河も見るとすがもなく、ひ

た走りに伯林へこいそぐ。

眼がさめるミ、いつか獨逸

の平原、北歐の氣分が漸く濃

く、空も森も牧場も、南歐の

晴れがましい氣分にひきかへ

て暗く、而も秋ばれの日光は

まきもに輝いて、林も牧場も森のかげの尖塔も、きはやか

に車窓から見られる。羊や牛が参々伍々牧場の彼方こなた

に見える。あのミレの繪に見られるやうな農夫や農婦が畑
に働いてゐながら私たちの列車を見送る。馬鈴薯を掘つて
ゐる派手な頭巾の農婦も見える。

衰へし國さも

見えず秋みのる

憧れの伯林

みるや秋晴れて

斯うして晝頃——午後零時

三十分に伯林につきまして直

にセントラル、ホテルに投宿

いたしました。

こゝではじめて英貨ポンド

の下落にあつて換金に正金へ

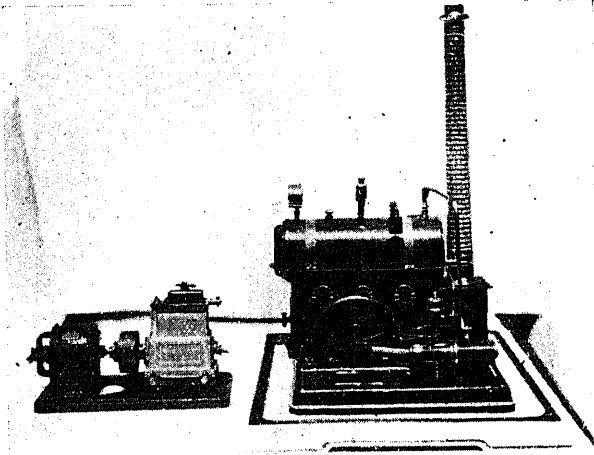
ゆくミ、いつも二十二マーク

渡されるのに十八マークしか

呉れない。その翌日は十六マ

ークになり、その翌日は取引せぬミいふ。かくて伯林の買

物は約十五マーク高いものを買つたわけになります。



(照參文本)具玩な的型模

れ何ターモは左、ンゲンエムーチスは右
さ動發に際質、てし備具をののり通一も
すまゐてつなにな置裝る得せ

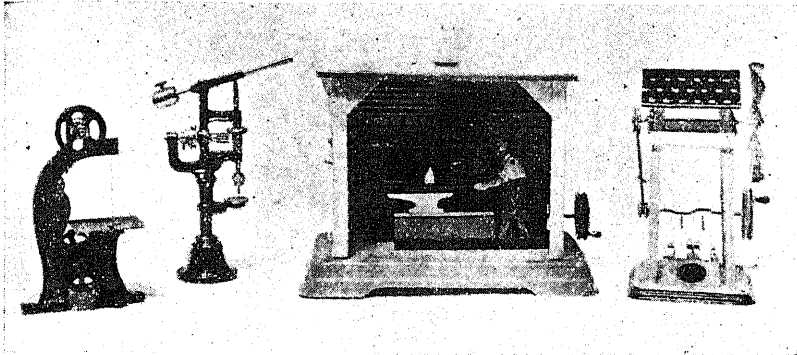
△ポツダム

の宮殿△

伯林から汽車
で約一時間ポツ
ダム(Potsdam)
ミいふ驛につ
きます。

こゝはロシ
ヤ、ブランブ
ンブルク州の主
邑で、ハーフェ
ル河に沿ふて舟
運の便もありま
す。

この宮殿は西
暦一七六九年、
ウキリアム大帝
の造營に係る離



(照參文本) 具玩な的型模
、鋸絲るよに力動は端左でのもる得し用使に際實もれ何は種二の左
なをルドンハ、置装のんさ屋冶鍛はつ二の右、(錐)ルリドくじ同は右
すまき叩でーマンハ、がんさ屋冶鍛とす廻



(照參文本) 具玩く動で掛仕ネバ
具玩い白面るす作動は又、し進行々夫にうやの物質、とすまき置てけかなネバ

官で、その善、
美をつくした結
構は礎に東洋の
順禮者をして驚
嘆させるものが
あります。
貝の間さいふ
のは恰もロビイ
(lobby)の如き
まころで、柱も
壁面も、ダイヤ
モンド、真珠、
水晶、サファイ
ヤ、ルビー、瑪
瑙、蛇紋石、珊
瑚等、原石のま
ま、又は加工せ
ざる採取のま

をタイルの如く張つて作られた素晴らしく凝つたものであります。

食堂は全部大理石。頗る清々しい感じであり、應接室の第一には全部鼈甲で作られた大形の椅子、テーブルが厳然として鎮坐まします、其の豪華を誇つてゐる所、遺に時めいた、ホーヘンツォルレン家の豪華を思はせる。この外、その書齋にも鼈甲製の机や椅子が置かれてあります。

第二の應接室にはマイヤーの陶器が断然光つてゐます。

花鳥のそれこそ見事な花瓶です。その外、壁面全部が鏡になつてゐる音楽室、恐らくは室中の樂師が花やかな衣裳でのオーケストラ、バンドが四圍の鏡面に映じて、更に一層の絢繡さを觀せたであらふと思はれます。清洒な寢室、遊戯具がそのまゝ保存されてゐる遊戯室、あらゆる書籍が背を見せて列んでゐる讀書室、ダンスホール、棧敷を圓形に造つた豪華な舞臺、及び大集會室があり、この外にカイゼルの住居があります。圖書室、書齋、食堂、皇帝の食堂、皇后室、待合室等眩しいほどの美さを以て私達にみせてくれました。

この宮殿はハーフェル湖畔にあつて、幽邃閑寂にして典雅な林泉の美は、私が歐洲の旅のうちで最もチャームされた所であります。

折柄夕刻、この湖畔を逍遙しました。

森をぬく尖塔高し秋のくれ

湖をめぐる森の茂りのしけりやう

▽獨逸の人形△

獨逸にはゼンマイ仕掛で動く玩具や人形等は殊によい物が澤山あり、私は種々物色してこゝで買入れたのが一番多いのです。

人形の瀬戸の頭は——嘗て本誌昨年三月號にも一寸記しましたが——獨逸より世界各國に輸出されたもので、大戰以前には米國へ數億ドルの輸出をしてゐて、我が國が米國へ輸出する生絲より遙にその輸出額が多かつたのであります。

以前は此の瀬戸の頭の人形が大分賣れたもので、これは嘗ても申した通り顔色・表情等も最も自由に且つ效果的に

出来、恰も可愛い實在の赤さんを見るやうに出来るのでその需用も多かつたのですが、その缺點とする所は重い事破壊し易いこと等の爲めに、今は米國やその本場たる獨逸で少し賣つてゐるに過ぎない状況であります。

ところで、獨逸では、その瀬戸の頭に代る立派なものを造つてゐます。それはセルロイドを材料として、かのセルロイドのキュービーさんのやうな光澤は全然なく、いかにもふくよかな筋肉のやうに巧みに造つてゐます。これは軽く、原型の微細な部分までもその通りに出るし、生地も厚いので、人形の頭としては實に申し分ない材料であります。

その他、布製の頭の人形も大分出来てゐて、やゝ離れて見るに瀬戸の如く、頗る立派なものであります。

一體日本人形の頭部の製法は世界でも獨特のもので、材料と言ひ、仕上げ加工の技術も云ひ、實に素晴らしいものであります。外國人の習慣として、子供のキッスに遭ふに、まことに慘めなもので、人形使節もこのキッスの被害を受けたものがあるといふことです。西洋人形に於ては道

に獨逸は巧みであつて、到底、米國の追隨を許しません。米國ではホースマンの作るものに良いのがありますが、これにて獨逸には及ばない状態で、一體に米國の人形は所謂ヤンキー式の下品さがあり、その上品な點に於いては佛蘭西人形を以て第一とせねばなりません。

獨逸の人形は愛らしいのです。斯うして私は伯林に於ける幾多の玩具店をあさつてみましたが、人形の外に、實物を縮少した模型的玩具が多く、而もまた巧みに出来てゐるのには、ほゞ感心せざるを得ないのであります。

* * * * *

私たちは伯林から露國へ、そしてシベリア經由歸國の豫定で、乗車料金も急行寢臺券も夙に拂込み済みであつた所へ、かの日支事變に遭つて、愈々旅程を變更すべきやう、大使館からの注意もあつたので、あたり乗車料金も寢臺券もそのまゝにして印度洋を経ての船旅をつゞけることになりました。

あの最も華麗を誇るフリドリッヒストラッセ、それから、あのウンテルデンリンデンミ、リンデンの落葉を踏ん

で、旅程變更のために幾度郵船や、クック社や、正金等へ行き來したこゝでせう。一行何れも無事元氣旺盛ながら、日支事變の磅價の下落には閉口したのでした。

九月二十九日、伯林を愈々後に出發するにあつて、私達はリンデンの並樹の落ち葉を泌々こした心地で踐んで歩きました。大島先生は

句もなくてリンデンの落ち葉ふみ歩く

こやるこ、若月氏は

金なくてリンデンをゆくやかへる雁

そこで私も

ものを思ふやリンデンの落ち葉はらはらこ

まここに獨逸の九月末は、冬の厚い外套を伯林で拵へて着て歩いたのですがそれでも寒く、色美しい落葉が街路に散り敷かれ、風に捲かれて、……おゝ寒む。

* * * *

(四一頁よりつづく)

せんのでそのまゝテストに申しますが、これによつて養はれてゆく場合がありませう。入學期を直前にして俄か仕込みを避ける爲に、又協力生活を良くするためには、一層個を知る必要がある爲に、出来る限り、一人づつを知ろうと努めてゐます。知るばかりでなく、この年齢相當の知力で知つておくべき事實は、特に知らせることも致します。この場合は、なるべく一人づつを順々によんで靜かにきいて見たり、話し合つてみたり致しますので、時には、直接記憶を養ふ爲に或る言葉を云はせて見るなごのこゝもあつて、自ら發表力を養ふ機会になります。

以上發表力を養ひますこゝについて、述べましたこゝですが、之は上手に發表する、うまくするこゝいふ意味ではないこゝいふこゝを呉々もお断りして置きます。始めにも申しました如く、一人の子ごもがもしかしたら、無言でも一日がすんでしまふ、それが一週間も續いたしたら、保姆が留意しなければ、保育を受けるに何らの痛痒を感じないでもすむこゝいふ事になつてしまふ事を懼れるのでございます。

保育生活感想 (抄)

— 子供と共に生きる —

これは、先日或る保姆養成所の先生が來園されし折示された、生徒の保育實習感想摘記である。

○ 自由遊が大切だミ聞いてゐるが、實習に出て始めてそれを感じました。幼稚園へ出てゐるミ其の間、自分個人の心配事さか又しやくに觸つてゐるたさいふ様な事はすっかり忘れてしまふ。本當に不思議な程です。子供の心はこれ程も私達の心をひきつけるものかしら。(A子)

○ ……子供と共に遊びつゝ…「ほんまにうに幼児のお友達であらうか」…しかし私の膝に肩に置く手、そしてここにこぎ疊りない様でうたつてゐるのを見ては、こんな事は考へたくない。眞實は「幼児のお友達の一人にして頂いた」のでも私はかまはぬ。(B子)

二學期は私の收穫時であつた。…自分で一つの組を責任持たされ、益々子供を見る上に利がもたらされた譯である。こゝに於て初めて子供を見たさいふより感じたさいふべきか。『先生』ミ側に寄つて來る。子供のその短い言葉の裏にされだけ多くの意味が含まれてゐる事だらう。それは個々によつてすべて異つた意味を示してゐる事ミ感じ得た。特に自分で受持つ組の子に對しては、ちいつミ無言で見上げるその顔一つで大體何を語り欲してゐるかをさんな要求を私に持つてゐるかを察し得る程、それ程私は子供の内部に親んで來る事が出來た事をさう云つたらいいかわからない程うれしく思ふ。(C子)

○ 子供は本當に私達の心持をよく覺るものです。

口では命令的に叱つてゐるようさ本當に心の中でその子供を愛しその子の爲を思ひその子供の心に共鳴してゐるならば、よくその心を汲みきつてくれます。その反對に、自分の爲を考へて云ふ時は、いくら優しく云ふても聞いてくれません。

始めて〇〇幼稚園に行つた日でした。友達もないのか淋しそうに皆の遊んでゐるのを眺めてゐる子供がありました。その姿があまりにもいぢらしく思ひ、同情させられました。するさ、自然にその心持が動作に現はれるのか、今日一番私を待つてゐてくれるのはこの子供です。

子供の心をくみ、愛をもつて先生としてでなしに子供の友達として楽しく生活をして行く、それはどんなに楽しい世界であらう。

今まではあまり外形に生き、本當に遊ぶ事が出来なかつた事を子供にあやまらなくてはならない。これは大きな罪でした。〇〇幼稚園の子供さん達よ、ゆるして下さい。でもまだ若い爲か、先生きざりであるつもりだがごこかに子供々々しさがあつたのか、朝でも他の先生よりも私を待つ

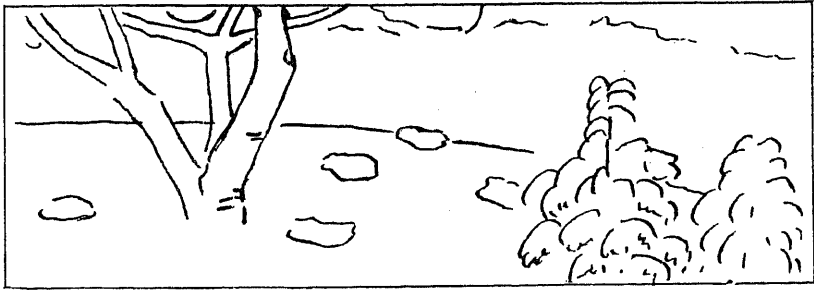
てゐてくれた事、本當にうれしく思ひます。もう皆さしよに遊ぶのも僅かです。もう少し早く氣がついたら、……でも僅かの残る日を共に楽しく遊びませう。これからは生れ變りますよ！ 私は若い、子供の友達としての生活の方が私の生活にびつたり來そうだ。そしていつまでも若くて楽しく送られる様な氣がする。(D子)

〇

私としてうれしい事は、此の頃特に子供と共に居る事、子供と共に生活する事、子供と共に遊ぶ事をこの上なくうれしく感じてゐる事である。實習生活の毎日、特に自由遊びは狭い庭で狭いながらに遊ぶ色々の遊びは何もかも忘れてうれしく感じる時である。(E子)

お知らせ

例年の春の『幼児教育講演會』を、五月廿七日
(土曜日)に開催いたします、何卒多數お誘合せ
の上御來會下さい。(廣告面を御覽下さい)



新園寄せがき帖 (其の二) 及川 ふみ

五二

こゝ大塚の新園舎に引きうつてから早や一學期は夢のやうにすぎ去つた。その間、小學校への入學、新入園兒の募集に檢定に、保育實習科生の就職等々、ミ次々ミ學校行事が忙しくつゞいた。

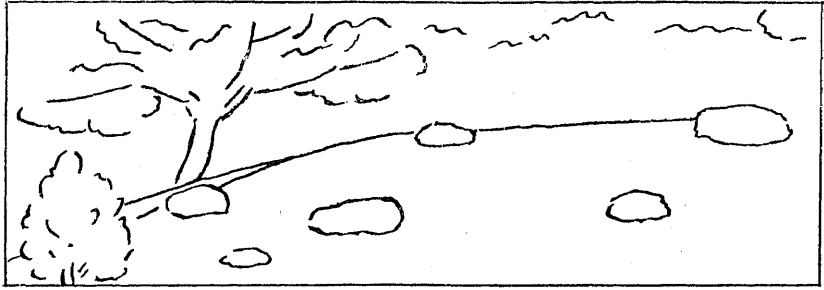
幼兒たちは新しい奇麗な園舎には移つたものゝお庭は二三寸もの霜柱でぬかつてゐる上に、運動器具がまだ一つも備へられないので、數度の雪の日の外はほさんぎ一月二月は室内生活で終始してゐた。この學期からは上靴が二足、一足は上のごむが黒くて幼稚園の庭用運動靴、一足は上のごむが茶色でもつばら室内用上靴、さあつたがこの庭靴はこれも新調の立派なニス塗の靴箱の中にしまつてあつた。

三月に入つてからはほか／＼あたゝかい日もあつて本校の大きなグラウンドへいつて思ふ存分かけさせる事も出来た。

四月の新學期になつて砂場の周圍やテレスの下も美しいコンクリートの舗装工事が出来上つた。今度の冬は霜ぎけのききにも室外で充分遊ぶこゝが出来るとし、机をもち出して日向ぼつこしながらお話やお仕事も出来るミ考へただけでも嬉しくなつた。

東京市役所の公園課の方のお指圖によつて庭の工事がすゝめられて来た (特に倉橋先生が井下公園課長に御依頼になつてその道の本職の方々の設計による)

植木屋が毎日八九人位づゝたち働いてゐる、大小一千數百本の樹が次から次へミ植えつけられる。六百坪にあまるこの庭に、もさから植はつてゐたのは大きな櫻が四本だけであつたのに、けやき、しい、つゝじ、ヒマラヤ杉なき南の塀に沿つて出来た細長い山に澤山に植えこまれた。その木々の間は一面に芝生がしきつめられた保育室から見える色はたゞ緑ばかりになるのも遠くはないと思はれる。



職員室の小黑板に木の根の観察を倉橋先生が大書されたのも此植えこみの最中だった。

土筆

庭の手入や運動具の備へつけ工事のために幼児が思ふままに幼稚園の庭で遊ぶこども出ないので天気さへよければ本校のグラウンドへかけつこに、摘草に、毎日の様に本校へ進出する。今日もその道をたぎつて變電所の横までゆくこすぎなの小さいのがちらほら見え出した。もしや土筆がさ、あたりを見まわすさ、あるは、あるは、ぬく／＼榮養豊かなのが澤山に生へてゐる。思はず、「皆さん土筆」ささげんだ。幼児のよろこび方も一通りではない。みるみるうちに両手に一ぱいの土筆をこつた。寄宿舎の坂の方から新らしく入つた川の粗の人たちが散歩から歸つて来るのが見えた。早く早くこ手まねいた。のこりの土筆を此人たちにゆづつてグラウンドの方へひきあげた。一人でこの位づゝくれたか數へさせたが多い人は五六十本、大抵の長さが三寸から四寸位もあつた。少い人でも三十幾本もこつてゐた。東京の中でこんなこは珍らしい事で新校舎二萬數千坪の敷地の廣さがありがたかつた。土筆をあづかつてかけさせたいが紙も鉛筆もちあはせがない。地面の上に木ぎれで名をかいて各自の土筆の所在をあきらかにして遊び出した。

お忙しい倉橋先生はこんな楽しみをされる暇もないのでこつてきた土筆にすぎなをうゑ添へて主事室へかざつた。きれいな人達にこつてやりやり自分がこつた土筆も數十本あつたので歸りにもつていつてゆで、翌日のお辨當に入れてきた。

次の月子さんは朝からにこ／＼顔で「けふは土筆のおかずよ」こお辨當を楽しみにしてゐる。「私もよ」思はずいつた。月子さんのお母さまのお心づかひがうれしかつた。

庭の植えこみも一段落ついた。プランコやスベリ臺なきの運動具も備へつけられて幼児の遊び道具もふえた。幼稚園のおひつこしも一家のおひつこしも同じくさぞ幼児にこつては迷惑なこゝであつた事でせう。

小兒腸寄生蟲(蛔蟲と蟯蟲)

東京市兒童掛長 醫學博士 廣

瀨

興

陽春の候もなれば小兒は戶外に遊ぶこゝ多し多く従つて土にしたしみ、或ひは野菜果實の生(なま)のものを多く食する時期となる。それがため此頃に最も蛔蟲や蟯蟲に感染する機會が多くなるのである。

蛔蟲

蛔蟲は我々の腸内に寄生して我々の攝取する營養分を奪ひ取つて生活してゐる。のみならず腸内に寄生して成長する間に種々の發育の經過をこつてそれがため我々に非常な障礙を來し、時には生命をも奪ふこゝさへある。

今迄、我々は野菜類に附著した蛔蟲の卵を食するこゝ、その卵は我々の食道、胃、腸の順序に進入し腸内で孵化し、幼蟲となり、次で四五寸の成蟲となるものゝ單純に考へて居つたのであるが、近來種々の實驗によつてその蟲卵より成蟲迄の成長及びその経路は非常に複雑してゐるこゝが判

つたのである。

成長の經過

蛔蟲の卵が糞便と共に人體外に出て適當の溫度と濕度があればその卵の中に小なる幼蟲を生じこの幼蟲は卵殻より外に出ないで一年位も生きてゐるこゝが出来。若し、これらの卵の附著した野菜を生で食した場合にはその卵は食道胃を通つて腸に達し、その幼蟲は殻を破つて腸内に出て更に腸壁を穿孔し、腹腔内に入ります。それから横隔膜を破つて肺臓に入るものあり、或は腸の内壁を破つてから肝臓に入りそれから血管内に入つて肺臓に集るものもある。こゝにて充分の發育をまけ氣管を経て咽喉に出で更に食道に下り再び胃を通つて腸にかへりこゝに始めて成蟲となるのである。この卵より成蟲になる間は殆んど五週間に費すものである。

斯様に腹腔、肝臓、肺臓稀に心臓等重要な内臓を通過す

る故に其経過中に色々の障碍を起すのが當然であつて從來原因不明の症狀としてその手當に迷つた場合がこの極めて小さい蛔蟲の幼蟲の爲であつたことが判つたのである。

蛔蟲による症狀 蛔蟲は前述の如く體內にて種々の経過をみる故、従つて其場合々々によつて種々の症狀を起す。

(一) 幼蟲による症狀 (イ) 蛔蟲性肺炎、幼蟲が肺を通過する時に肺炎を起すことがある、(ロ) 蛔蟲性腎臓炎、腎臓を蛔蟲の幼蟲が通る時、蛋白尿等を出して腎臓炎の症狀を發する。(ハ) 蕁麻疹、皮膚に瘰癧紅い丘狀疹が時々發するもので屢々現れる症狀である。

(二) 成蟲による症狀 小兒の腸内に蛔蟲が寄生するに、(イ) 異味症即ち小兒が土、炭等普通食べられぬものを好んだり、物の好嫌ひや偏食をする様になる。(ロ) 腹痛時々時期を定めず又は食事中突然腹痛して中止することがある。(ハ) 唾液分泌過多「よだれ」を多く出すことや、生つばが常に口内に湧いて來る。(ニ) 嘔心嘔吐、常に胸が悪く、嘔き易く、妊婦なれば「つはり」が一層甚しくなる。(ホ) 食慾不進別に胃腸が悪いと思はぬのに食事が進まなくなる。(ヘ)

便通不整、格別の原因なしに下痢したり便秘したり一定せぬこことがある。

又神經障碍(蛔蟲の爲の中毒症狀)として(イ) 痙攣(ひきつけ)たり失心したりする事は小兒に殊に多く見るところである。(ロ) 筋痛、神經痛、關節痛(ハ) 鼻腔瘙癢小兒がよく鼻の穴をほじつたり、鼻孔がたゞれたりする。(ニ) 視力障碍、斜視、夜盲症、網膜炎(ホ) 頭痛、夜驚症を來す事もあ

る。一般症狀としては(イ) 發熱(ロ) 榮養不良、貧血(ハ) 不機嫌、氣むづかし、所謂蟲がおこるこいふ症狀を來す。

以上の如き種々雑多の思ひがけぬ症狀を發する外、胃、鼻腔、氣管、尿管より蛔蟲の排出することがある。故に蛔蟲を從來の如く輕々しく考へるこもなく極めて重大な一つの疾病と見做してその驅除に努めねばならない。我國に於ける蛔蟲の蔓延は世界に有名であつて、百人中平均五十三名の割合であつて、特に寒冷の地より溫暖の地に、都會より農村に多い。即ち都會居住者三十七人に比し、農村六十六人の割合である。

驅除法

第一豫防法 近來、ビタミン學説が考究せらるゝに及んでビタミンAが缺乏するミ蛔蟲感染率が高まるミ云はれ、平素ビタミンAの豊富なる食品例へば肝油、鱒、魚の肝臓、鰻、かき、卵黄等を攝取することが必要である、蛔蟲が東洋に、殊に農村に多いのはこの關係であるミ云はれてゐる

蛔蟲卵は生の野菜、果實、漬物等に附著して口中より入るのであるから、生のものを食べるごきに注意が肝要である。併し總てのものを煮沸することは出来ぬから、野菜などは二〇%の晒粉水(クロール石灰水)又は保土ヶ谷液に十分以上浸し然る後、よく清水にて洗ふこと、殊に強き壓力の水で洗ひ落すことが最も有効である。

第二驅除法 前述の如き症状があつたら蛔蟲のためではないかとの疑ひを抱いて一應醫師の診察を受け尙ほ、便の検査をなして確めることが必要である、蛔蟲の爲ならば驅蟲薬を以て、サントニン、マクニン等を服用させる。殊に二歳から十歳位は最も寄生し易い年齢であるから原因不明

の腹痛、嘔心、食慾不進、便通不整、痙攣、蕁麻疹、夜尿症等その外前述の如き症状のあつた場合は必ず蛔蟲の爲ではないか疑ひを以て一應驅蟲法を試みる事が必要である。尙、一月一回定期的驅蟲薬の服用は賞用すべきであらう。

蟯蟲

蟯蟲は二三分の小さき白色絹絲狀の蟲であつて特に小兒の肛門近くの大腸内に寄生し、蛔蟲程障礙はないが夜間睡眠中肛門、附近に這ひ出てそこに卵を生みつけるため非常に不愉快の痒さを感じしめそのため小兒をして睡眠不足を來し遂ひに神經質の原因をなし貧血、榮養不良等を招來するものである。夜間睡眠後小兒の股間を検するごき易く發見することが出来る。

驅除法 蛔蟲より驅除は困難で次の三法を行はねばならない即(イ)サントニン、マクニンの内服(ロ)五—一〇%の食用酢の洗腸(睡眠前)(ハ)肛門に灰白軟膏を塗布する事。

以上二種の腸寄生蟲が最も多いものであり小兒期によく驅除することが他の疾病を豫防する上にも肝要のごきである(終り)。

毬がつかたい

昭和幼年唱歌第二輯

葛梁 原田 鹵 歌曲

♩ = 120

mf 1 2 3 4

1. ワタシハマリが ツキタイナ オホキナゴムマリ シロイマリ
 2. わたしはまりが つきたいな おゑんでついても はづむまり

マツカナオハナヲ カイタマリ トントントントン ツキタイナ
 おにはでゝいても はづむまり トントントントン つきたいな

f 5 6 7 8 *dim. rit.*

9 10 11 *f*

12 13 14

毬がつかたい (昭和幼年唱歌第二輯)

土川五郎振

前奏 1 2 …… 左右の手交るゝ毬をつくこゝ三回

3 4 …… 右手にて大きくつき乍ら四回にて正面きなる

一、わたしは …… 両手にて毬を持ち體前に出し少しく左へまはして左より毬をのぞく

まりが …… 右へまはし右よりのぞく

つかたいな …… 左手腰にし右手腕を右横腹につけ手先を少しく出して小さく球をつくこゝ三回 (頭を少しく左前に傾けて

おほきな …… 両手に毬を持ち左足少しく左へ毬を左上にあけて見る

ごむまり …… 體前下方より右上にあけて見る

しろい …… 左足を引き上體を前に傾け両手を左右に開き毬を落して見る如くす「い」にて拍手す

ま り …… 體前より毬を受くる如くす

まつかなおはなを …… 左手に毬を受けて前に出し右食指にてさしつゝ四歩前進す

かいたまり …… 両手にて毬を持ち前後に動かして後退す三回

トントントントン …… 右向きをなし両手にて交互に毬をつきつゝ四歩前進す

つきたい …… 二回拍手す

な …… 両手を頭上に丸くあげ上體を十分前に屈し左足をあげ左腕の下より左前方をのぞく

後奏 5 6 …… 足踏しつゝ兩手交互に毬をつくこゝ八回

7 8 …… 右手にて大きくつきつゝ、右廻り四回にて正面になる

二、わたしはまりがつかないな …… 第一ミ同じ

おゑんでついても …… かがみ右手にて小さく軽くつくこゝ八回

はづむ …… 右手にて大きく強くつきて立つ

ま り …… 立ちて尙ほ一回大きく強くつく

おにはてついても …… 左右兩手交互につきつつ右に廻り正面になる

はづむまり …… 正面にて二回大きくつく

トントントントン …… 左向き兩手交互につきつゝ、前進四歩

つきたい …… 二回拍手

な …… 兩手を頭上に丸くあげ上體を前に傾け右足をあげ右腕の下より右前をのぞく

後奏 5 6 …… 兩手にて交互につくこゝ八回「7 8」ハ第一の歌のもの故にこゝに用ゐず

9 10 …… 右手にて毬をつきつゝ、右廻り四回

11 …… 兩手にて交互に四回つく

12 …… 同じくつきつゝ、前進四歩

13 …… 左足一步引く時右手にてつき手の甲に受ける時右足を引きつける
又後半節にて同じく左足を引く時右手にて一回つく

14 …… 前半にて左足一步左へ上體を左に傾け後半にて兩手を體前より左上に上て毬を受くる如くす、顔は右上に向く

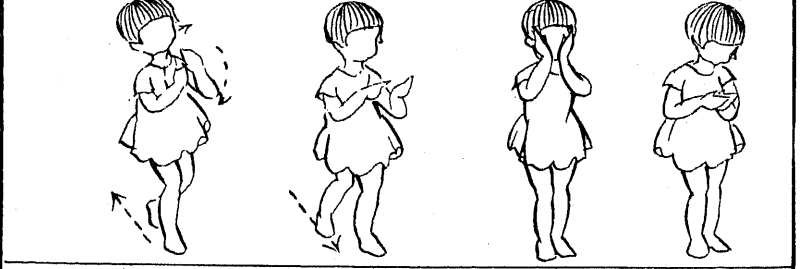
がりま はしたわ (-) 4 3 2 1 奏前



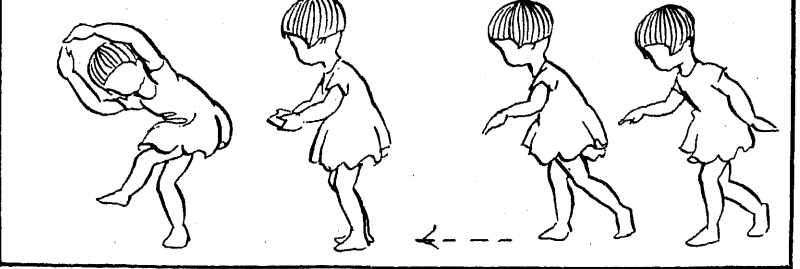
ろし リまむご なきほお ないたきつ



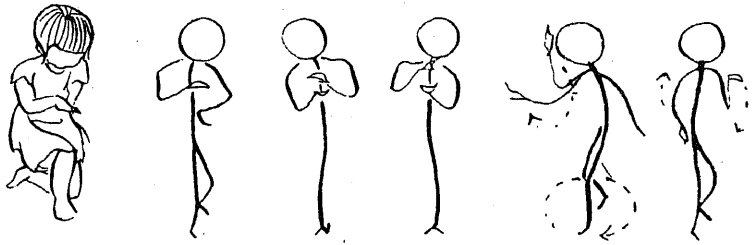
りまたいか をなほおなかつま リま い



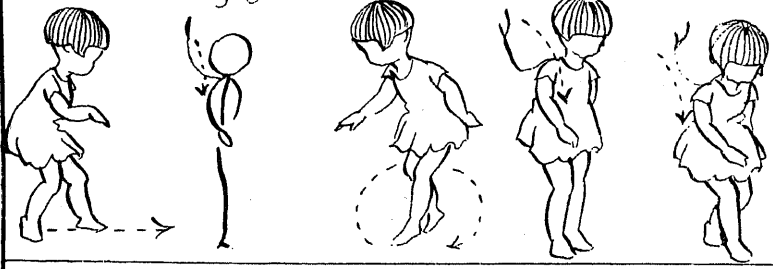
な いたきつ ントント ント



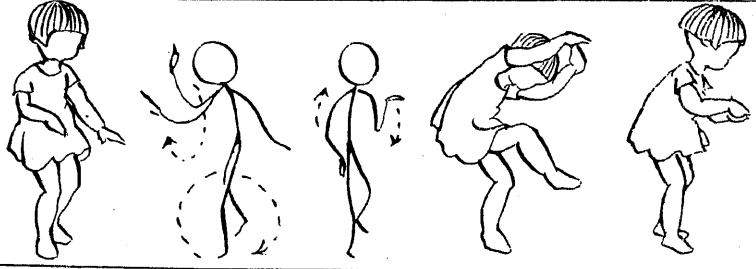
でんゑおないたぎつがりまはしたわ(=) 87 65奏後
もていつ



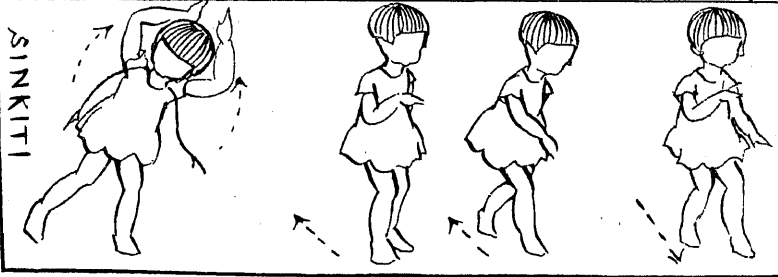
ントント ぶづは りま であにありま むずは
りま もていつ



11 10 9 65 奏後 な いたぎつ



14 13 12



講話「いろいろの子供」

4

倉橋惣三

氣の散る子

(一)

此の前には氣の鈍い子供さいふので心持が始終さんよりして居るやうな子供のこゝを申しました。それを見た所大變反對に居ります所の子供が即ち氣の散る子供であります。この種類の子供は始終一つの事にじっくり心を落付けて居る事が出来ない、次から次へ氣が散つて居りまして、傍で見て居りましてもぎよろ／＼して居るのであります。斯ういふ子供が或る場合には極く小さい時からその特色が現はれて居るこゝがあります。例へば繪本を見て居るさいふやうな時でも、普通の子供は一々の繪に子供相當にゆつくり見て居るのに、その繪を次から次へはぐつて行きまして、一の繪には少しもじつこゝ目を付けて居ない。今見

て居る繪は直に次の繪に移るさいふやうな子供がある。或は玩具を持つて居りましても、一つの玩具に相當に長い間楽しんで居る子供がありますが、一寸いぢるこゝ、直にそれを棄て、しまつて他の玩具に移る、始終目まぐるしい程次へ／＼と移り廻つて居る子供があります。けれども元來子供の生活は大人のやうにそんなにしつくりこゝの事をして居る筈のものではありませんから、極く小さな中には特別に心付かないで済むのであります。併し段々大きくなりまして、例へば幼稚園に来る頃他の子供はそれ／＼に幼稚園の事業を相當熱心によつて居る、或は先生のお話を相當に心を入れて聞いて居るさいふやうな時に、その氣の散り易い子供は少しも靜かにして居ないのであります。始終あたりを見廻はして傍視をして、その身體も靜かにして居ないさいふやうな風であります。更に學校に入つて落著いて勉

強をしなければならぬ頃になります。この違ひが格段なものになります。優秀な子供は與へられた課業を専心やつて居る、算術をいたすにしましても、圖畫を描くにいたしましても、或は裁縫をいたすにいたしましても、その仕事は専ら氣を入れてやつて居る、そころがさうも斯ういふ事の出来ない子供があります。著しい差別がそこに現はれて來るのであります。そこで斯ういふ子供はその周囲の種種のものに氣を奪はれて居るのでありますから、その子供としては相當に次から次に面白がつて居るのであります。先號に申上げました氣の鈍い子供がさんより、ぼんやり、うつかりして居るのに較べまして忙しさうに興味を追つて居るさういふ風な事もいへるのであります。けれどもその次へくさ心に移ります時にはさうしても一の事に就ては極めて淺いこころしか出來ないのであります。それが爲にその子供の頭腦全體の發達が非常に損をするのであります。元來人間の知惠の働きさういふものは勿論知識の獨特の作用でありますけれども、併しそれが何處まで十分に働くかさういふ事は寧ろ注意の方の問題に關係します。例へばも

のの能く分る子供でも氣を入れてしなければ分らない、記憶の相當にある子供でありましても注意深くその事を見なければ、聞かなければ記憶に残らない。種々考へて計畫する、工夫する力が相當にある子供でありましても一心にしなければ、その力は十分に出ない。即ち人間の頭腦はその頭腦自身の力の外に何處まで一生懸命そののこころに心を纏めるかさういふ事によつて大變に差別が出るのであります。

これは大人でも同じこころであります。殊に子供に於てその關係が強いのであります。そこで斯ういふ性質の子供は相當に知識の方の力がありましても、其を自ら一事に纏めて働かせて行くさういふ事は出來ない爲に常に知力的にも劣等な事になるのであります。あの子供の頭は相當によい頭である、時々思ひもよらぬ器用な考へなきが出るけれども、さうも全體としては本當にしつかりした知識生活が出來ないさういふやうな事を私共認める事が屢々ある。これは即ち知力がありましても心を纏める方の力に缺けて居る爲に起るのであります。斯ういふ事が段々重なつて行けば、その子供の學校生活全體を通して非常な損失を受けるさういふ

現はして参ります。その子の將來に就て頗る心許なく感ずるのであります。

(二)

そこで斯ういふ子供は種々の種類があります、同じく氣が散るに申しましても、その散り方が種々あるのであります。こゝにその重なるものを幾つか擧げて申します。第一には相當に物に始終氣を引締めて行く力の多い子供があります。前に申上げました繪本を見るにしても一の繪を見て居る中に直に次の繪の色彩に目を誘はれるこいふやうな子供は即ち外から來る刺戟に對してぎんぐ移つて行くのであります。音樂を聞いて居つても、外の一寸した音に直に耳を奪はれて行く、斯ういふ子供は即ち自分の精神をその今向つて居ります事に纏めて行く力が足りないと共に外からの影響に向つて餘りに感じ易い性質の子供であります。

こゝは勿論であります。また大人にいたしましたしても世の中へ出て、總て種々な事に成功するか、しないか、必しも世間的にえらくなるか、さうかこいふ事は別として、その人としての自分の仕事、自分の職業、自分の研究、さういふ事は十分に成功するかさうかこいふ事は申すまでもなく、その人の熱心の加減に基くのであります。所謂天才こいふやうな人は勿論頭の作り方に違ひがあるのであります。うけれども、總ての天才にせよ、性は所謂凝り性でありまして、一つの事に殆んど脇目もふらず夢中になつて没頭するこいふ性質を有つて居る。昔からの名人悉くさうであります。即ちさういふ人のその驚くべき天才的の仕事の出来るのはその集注の力から慘み出る所の、或は集注の間に閃き出るところの何物をか捉へてそれを何處までも中止する事なく完成して行くこいふ事に基くのであります。總てこの世の中に立つて自分の生活に、自分の精神を纏めて行く事の出来ない人はたこえ才氣がありましても本當の結果を擧げるこゝは出来ない。そこで私共が子供を見て居りまして、一寸小柄な子供でありましても氣の散り易い傾向を

ではありませんが、一の事に氣を向けて居ります。いつの間にかそれと關聯した事が心の中にかゝり起つて來るのであります。例へばお話を聞いて居る、そのお話はお

話して次から次へ注意して聞かなければならぬのでありますが、其話のある事からヒョット自分の心は自分の今まで経験した何物かに結付いて來まして、そこに今聞いて居る話には、注意せずして、其から引出されて來た、種々の思ひ出さぬいふやうなものに氣が配つて置かれるのであります。これは或る意味に於ては子供の活潑なる創造性に基くご申してもよいのであります。申上ぐるまでもなく、子供はその心の中には實に豊富な創造性を有つて居る、例へば子供がこの頃の夏の日に椽側に出て白い雲を見て居るさしまするなれば、其白い雲を見て居りながら、目はその雲を見て居りながら、實は心の中ではお伽噺に聞いた夢の世界、空の世界、そんなものが心の中に次から次へ繰出されて來る、目に物を見て、心ではそれは丸で違つた方へ働いて居るさいふやうな事は子供には屢々あることであります。すけれども、それは其として一種面白い事でありますが、今外の物に十分注意をしなければならぬさいふ時に、それが中から起つて來まして、其注意を奪つて行くさいふのは困るのであります、空想性の子供ご申してもよいと思ふ。

學校などで先生のお話を聞いて居りながら外から見た所では其お話を聞いて居るやうであつて、決してきよろぎよろご脇目をするさいふのではありませぬけれども、その精神はお話に集注してゐないさいふ事が屢々あります。

それから第三の種類は是等ご餘程趣きが違つて參るのであります。總て何事に就きましたも、今やつて居る事ご、其から生じて來る結果さいふものがある事ごは勿論であります、そこで私共は大人ごして何か仕事をいたします時にも今やつて居るご其自身ご、其から生じて來る結果ご兩方を頭の中に適當に有つさいふごは當然の事であります。けれども仕事その物に對する眞剣なる態度さいふものは結果をも忘れなければならぬ。その仕事に入ります時は結果を考へ目的を考へて、その爲に斯ういふ事をするのであるさいふ事は當然の事であります。けれどもサテ其仕事に入つてしまひましたなれば其より生ずる結果の如きは暫く念頭を去りまして、たゞその事自身に夢中に入り込んで居るさいふのでなければ本當の力強い生活は出来るものではない。殊に子供の本來の性質はさういふ點に於て極めて

特色を有つて居るのでありまして、大人のやうな打算的な結果主義的な態度を違ひまして、そのやつて居る事自身の興味、其にのみ引かされて行くさいふのが子供の子供らしい、然かも尊い世界なのであります。所が或る種類の子供は子供でありながら自分のして居るこゝ自身には餘り氣を注がずして、其から生じて来る結果ばかりに氣を移して居る。こゝに子供に繪を描かすします。その描いた繪を展覽會のやうな事にするします。普通の子供でありましたなれば、その展覽會に張出されるさいふ事を樂みにしてその繪を描出す。けれどもイザその繪を描出したさいふ事なすこその結果が展覽會に出るか出ないかさいふやうな事なさいふの間にか忘れてしまつて、繪そのものゝ中に自己を没入させる。ところが氣の散り易い或る種類の子供は繪を描いて居ながら一寸描きかけては、これを何ういふ風に並べられるのであらうか、或はまた一筆描いては是を出して下さいますかき先生の所へ聞きに来る。さういふ風にして絶間なく現在やつて居る事を離れては將來の結果の方に心を移して行くのであります。これはやはり、其やつて居

る事に精神を纏めるこゝが出来ないさいふ意味に於て氣が散るさいふ中に入れてよいと思ふ。

次に第四の種類はこれまた少しく趣きを異にします。

その種類は自分で或る事をして居りながら必しもその結果の方に心が移るさいふのではありませんけれども、して居る自分さいふものが始終心に浮んで来るのであります。是は一寸分り憎いこゝのやうであります。例へば大人の場合で例を取つて申しませう。こゝに音樂を聞いて居る人があるとする。その音樂を聞いて居る時にはあの美しい旋律、あの美しいハーモニーに引かされて、自分の形が今さうなつて居るか自分は今何處でその音樂を聞いて居るか、そんな事は全然無くなつてしまつて、その音樂そのものに酔ふたが如く聞きはれて居るのが當然であります。況や今自分が音樂を聞いて居るさいふ事さへも忘れてしまふ程その發音の中に吸込まれて居る筈であります。處が或る種類の人は折角の音樂を聞いて居ながら絶へず音樂を聞いて居る自分の形に氣を取られたり、或は音樂を聞いて居ながらいつの間にか音樂そのものよりも音樂を聞いて居る自

る事に精神を纏めるこゝが出来ないさいふ意味に於て氣が散るさいふ中に入れてよいと思ふ。

分の風流な高尚な詩的な事に自ら心が移つて来る。よく美術展覧會などに参りまして、私はさういふ人を見るのであります。あの美しい藝術の前に立ちまして、自分は今何處に來て居るか、どんなポーズでその繪を見て居るか、さういふやうなことは勿論念頭から去つてしまふ、或は自ら氣をつけなければならぬ事までも忘れてその繪の前に立盡してしまふのが當然だと思ひますが、中には繪を見ながら頭のことを氣にしたり、帶の事を氣にしたり、或は自分を繪の前に置いて居るその姿を誰かゞ見て居るか、さういふやうな事に絶間なく氣を取られて居るさういふやうに見られる人があるのであります。私共は例へば何か善い事をする、可哀さうな人に何か物でも恵む、その時の私共の本當の心持は、たゞその人が可哀さうであるその可哀さうなこゝによりまして、私の心が絶へ難く動いて來まして、そこで何物かを分つていふに留まるべき筈である。所がながくさう行かない事が多いのであります。今日の前にある人に物を恵みながら、恵んで居る自分の心付く働きは、目の前に居る人の事よりも、今して居る自分の美しい行ひその物の方が自分

の心を占領するさういふやうな事は必しも稀ではないのであります。斯ういふこゝは私共の方の言葉では自意識が強過ぎるこゝ申します。自分さういふ意識が強過ぎるのであります。折角自意識を取去つて無我没頭の境地に入るべき場合でさへもその自意識はまたしても起つて來るさういふこゝになるのであります。所で子供の生活は實はさういふ者ではない筈であります。大人は殊に年頃以上の者は、さうも自意識が強過ぎて困るのでありますが、無邪氣な子供はさうでない筈であります。玩具を持つて遊んで居る。この頃なれば海岸の砂の中に眞黒になつて種々な戯れをして居る。たゞその砂が面白い。たゞその波に戯るゝこゝが面白い。たゞ友達と駆け廻るこゝが面白い、それが今自分はそんな形になつて居るか、そんな醜い形になつて居るか、そんな事などは勿論氣にしないのであります。專念没頭その遊びの中に入込んで居るのが子供であります。そこへ私共が假に行きまして、肩を叩いて今何をしてゐたのであるか、聞きまします。殆ど思出せない程、その瞬間は瞬間にして充實して居るのが子供であります。所が時によりますと、さうも

其ういかぬ子供がある、いつでも自分さいふ事が氣に懸つて居る。いつでも自分さいふものゝ意識がつき纏つて居る。小さい子供には比較的ない事でありまして、七八歳以上からさういふ事が起るのでありますけれども、さういふ子供はやはり現在の生活に對して専念に生活するさいふ事が出来ないのでありますから、これまた一種の氣の散る子供さいふはなければならぬ。その他種々の場合に考へられると思ひますが、私が今一寸思出しましただけでもこの四種は區別されるのであります。

(三)

そこでさういふ子供に對しては如何なる注意を加ふべきか、如何なる教育的方法を用ふべきかさいふ事はその四つの種類によりまして自らそれは違ひがあります。先づ第一に外の刺戟に容易に引かされて次から次へ移り氣に行くさいふ子供に對しては、さういふ刺戟を成べく與へないやうな生活を経験さして、そこに精神の纏まつて行く方の経験を重ねさせるより他ないのであります。此事の爲には消極的の注意と積極的方法とがよく與へられて居ります。

消極的の方面は例へばさういふ子供には餘り多くの玩具を與へないとか、餘り澤山の繪本、雜誌を與へないとかいふやうにつまり氣を散らないやうに側から仕掛けて行くのであります。これは極めて大切なことでありまして、殊に今日の都會生活に於て餘り刺戟の多い中に居ります子供には斯ういふ消極的方法を餘程考へてやらなければならぬ、今日のやうに次から次へ容易に玩具が與へられ、またあの澤山の繪雜誌が次から次へ與へられるさいふ時代に於きましては、そこに餘程の斟酌差引を加へて行かなければならない。また積極的方法としましては、さういふ子供は自ら己れの心を纏めて行くこゝが出来ないのでありますから、それを特別に鍛錬しやうと、ある時間を極めて靜かに座らせて、靜かなる一室に於て精神集注の所謂凝念の生活をさせる、これを毎日繰返して居るなれば精神がさういふ風に向いて行くさいふ考があります。それは氣が纏らなくつて困る大人なさが靜かに禪堂に入つて心を統べる事と謂はゞ同じやうな仕方でありまして、また時には親が一緒にその子供と靜かに座つて、その子供の精神集注を計るさい

ふやうな事も至極よい事であると思ふ。けれども方法だけ
ましては小さな子供なごには相當に難かしい事でありま
す。殊に外の事に氣を取れないやうにその靜かな生活を
させて居ります中にいつの間にか前に申上げました第二種
類の状態に移る。外の事には氣が散らないけれども心の中
に滿つる雜念、種々な空想が止度もなく沸いて來るごいふ
ごは普通の子供ごしては有勝ちの事であります。そこで
大人に出來るごいつて子供に直ぐその方法がうまく行つて
居るものごは考へ憎いのであります。寧ろさういふ子供
に對してはさういふ抽象的な形式的な凝念法よりも何か實
際の仕事、實際の事業を與へてそれに向つて段々に精神を
纏めて行かれるやうにその工夫をした方が或はよいかと思
ふのであります。

第二種類の創造性の逞ましい爲に氣が一つに纏らないご
いふ子供に對してはこれはやはりさういふ抽象的な生活か
ら具體的な生活へ向き變つて行くごいふ事によつてやゝ矯
正出來るかと思ひます。子供には考へさせて行くごいふや
うな事も必要でありますが、元來が具體的特色を有つて

居るものでありますから何か力仕事を課して、その仕事を
具體的に工夫し完成して行くごいふやうな事によつて、其
子の動いて來る心を制する事もよいかと思ふ。或はこの頃
でありましたなれば夏休みの間適當な大工道具、手工道具
そんな物を與へまして箱を造る、家を造る箱庭を造る、何で
もよいのであります。空想ではなくして物を形の上に造り
出して行く、個々の製作をさせるごいふ事は、斯ういふ子
供に對して餘程有效な結果を來すものではないかと思ふ。

第三の種類の、結果の方に心が動いて現在に没入、没頭す
る事が出來ない子供は、これは恐らくこれまでの教育が禍
ひする事と思ふ、私共の大なる誤りがこゝにあるかと思ひ
ます。子供に向つて何か一生懸命になれごいふ時に、其事自
身の大切さ、其事自身の興味、それを元ごして勵まして行
かないで、後の結果の重大さなごを直ぐ持出すごは教育
ごいふ方法に於てやり勝の事であります。これは大人側の
打算主義からいへばそれは理窟に合ふけれども、子供には
寧ろ以外の事でありまして、その以外の事が段々大人のい
ひ方によつて平氣になつて、習性になつて、結果の重大さ

を思はなければ物事に力を入れられない。結果を考へるの
でなければ現在の物に眞剣に成り得ないさいふやうな事が
養はれてしまふのであります。これは子供の本来の性質を
誤まつた教育がさうしたのである。結局限いたしてもよい位
である。故にさういふ子供に對してはさういふ事を少しも
與へないやうに是から氣をつけなければならぬと思ふ。

また第四の種類の常に自意識が起つて來て自分で自分の
生活が始終氣になつて仕方がない。それは人がさう見て居
るだらう、人にさう見へてるだらう、つまり見物人本位の生
活になるのであります。さういふ事も子供の性質本來では
なくして教育の誤りであると思ふ。没頭して居る子供、それ
自身に向つて餘計なおせつかいをして、やあ勉強をして居
るな、感心だな、えらいなさいふやうな外部からの批判を
妻りに加えたりします。そんな事は思ひ設けずに居りま
した子供が他動的に他律的に外からの種々な事に氣を配つ
て來るやうになるのであります。これもやはり教育の誤ま
りださしまするなれば私共は大に氣をつけなければならな
い。然かも既に斯ういふ傾向になりました子供に對しまし

ては、我々は慎んで結果意識、自意識、さういふ風なもの
を以て子供の心を失はないやうに氣をつけなければならぬ
事と思ひます。若し更に積極的にさういふ影響を十分に與
へて行かうとしまするなれば、私共自身は子供の側に居つ
て専念没頭結果を忘れ、自意識を忘れ、況や見物人を忘れ
たその熱心な生活を子供と共にするさいふこが必要であ
ります。と申しますと大層えらい事のやうであります。私
はあの子供を擱へて種々教育する人よりも自ら一生懸命お
仕事をして居らつしやるお母さん、自ら一生懸命洗濯物を
して居らつしやるお母さん、身なりも忘れてたゞその仕事
に没頭して居らつしやるお母さんなど、その傍に居ります
子供に對して、みんなに斯ういふ意味に於ける尊い意味を
與へて居るかさいふ事を思はずには居られないのでありま
す。斯ういふ事を種々申上ければ盡きないと思ひますが私
共の種々接します子供の途中でいつも一番困るのは氣の散る
子供であります。殊に斯ういふ子供は性來頓才にたけて居
るが如く見へまして、心なき大人の中に屢々好い評判にな
るのであります。然かも決して本當のものにはならぬ人間

素質でありまして、私共氣をつけなければならぬかと思ひます。

これで私の種々の子供ミ題する講話を終りますが、最後に一言申し上げます。私共親として子供の事につきましては種々氣になる。氣になつて呉ればその子供の缺點は次から次へこ心付く。勿論親は子供の缺點に就て十分明かに知つて居らなければなりません。うつかりして居てはなりません。併ながら一體世の中にそんなに理想的な完全な子供は澤山にあるものではありません。そんなに悪いこいふ譯でもありません。そこで理論的に、理想的に、缺點ミして考へられまして、その子供はその子供としてのやはり事實の存在でありますから、妾りに理想を以て、妾りに理想を以てばかり責めないで、其子供に對する理解ミ申しますか、同情ミ申しますか、さういふものを元として子供を育て、行かなければならぬと思ひます。以上子供のいろいろの缺陷のみを續けて申しました故に最後に斯ういふ事を以て私の話の全體の締め括りさせていただきます。

(大了)

たより

○いつの間にやらはや五月、新緑の候になりました。春から工を急いで居りましたこちらの遊園も殆んぎ出來上り、植込んだ許りの木々も縁を増して來ました。これでやうやく新園が整つたので御座います。何卒お通りすがりの節は御立寄り御覽下さいませ。「新園寄せがき帖」のカットは庭園を表はしたものです。

○申しおくれましたが、當園の徳久さんが去る三月、市内の幼稚園へ轉任され、その後小島そのさんを迎へました。此の方は、前にこちらにゐられた事があります。曾つて本誌で紹介申上げた「お茶の水人形座」一座中の「その八」さんで、舌切雀のおばあさんはこの優の當り藝です。

○いま一人この四月に迎へました。本會の夏期講習でおなじみの遊戯の戸倉ハル先生が本校の教授になられました。同じ校内に、三浦先生ミ戸倉先生、幼稚園遊戯界の權威者お二人を持つた幸を機ミして、近日兩先生ミ座談會を開くこにしました。何れ次號に御報告申し上げます。

東京音楽學校内 日本教育音楽協會編纂

子供の舞踊

卷 一・二

定價各冊

金 六 拾 錢

送料各金六錢

編纂並に振付は印牧・澁井・土川・土倉・三浦・宮寺の斯道の權威者によつてなされたもの、類書の最高峰幼稚園御關係諸先生に敢てすゝむ。



内容一 般

テフテフ・タンポポ・ママゴト・エンソク・コヒノボリ・マリナゲ・オニゴツ
コ・ジドウシヤ・オヒサマ・チユリッブ・キンギヨ・ミツアソビ・ハナ・ボチ・
アメ・カヘル・オフネ・ワタシハ二ネンセイ・サクラ・五一ヂイサン・人形ノ兵
隊・小サナ遊ビ友達・雨ノヤム時・オ出デナサイ・オウマ・ナミ・ヒヨコ・ダル
マサン・ウサギ・オツキサマ・カケツコ・オヤスミ・ブランコ・ナハトビ・ユキ・
ピアノ・マメマキ・ギツコンバツタン・オサル・スナバホリマセウ・ワタシノ
オウチ・ヘイタイ・ヒカウキ・十五ヤ・汽車ノタビ・喜ビニミチテ・國民行進曲

東京音楽學校内 日本教育音楽協會編纂

エホンシヨウカ

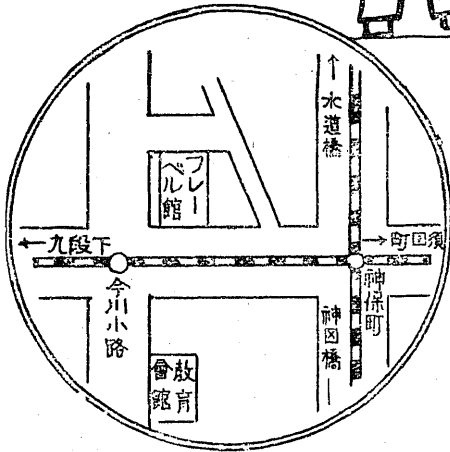
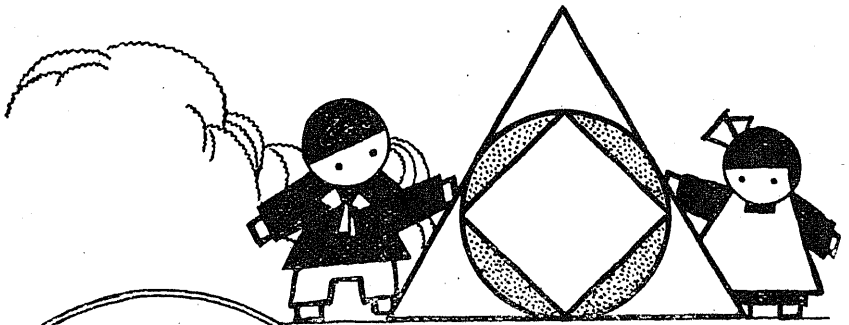
春の卷夏の卷秋の卷冬の卷

定價各金參拾五錢 送料各二錢

東京市神田區三崎町一ノ二

音楽教育書出版協會

振替東京六四七七〇番
電話神田(25)〇八三三番



謹 告

多年御引立に預つて居ります弊社もお蔭様で事業繁榮、從來の營業所では御案内の如く手狭の爲め、皆様にも御不便をおかけ致しまして恐縮に存じて居りましたが、今般左記に移轉いたしました。

九段方面にお出かけの節はお立寄り下さいませ。同所は今川小路電停前で至つて御便利で御座います。

東京市神田區北神保町四番地

株式会社
フレブル館

御註文専用電話 九段(33) 三八二七番

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回十五日發行)

昭和八年五月十二日印刷納本
昭和八年五月十五日發行

定價 三十五錢